Canon

PUB. DIJ-281A

HDビデオカメラ

iVIS HV30

使用説明書

お使いになるまえに

このたびは、キヤノンHDビデオカメラHV30をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。読み終わったあとも、大切に保管してください。

CANON iMAGE GATEWAY

ハイビジョンを楽しもう！

夕日が沈む山、心地よい川のせせらぎ、川原で遊ぶ子どもたち。
美しい映像や楽しいひとときをそのまま再現します。

HDV規格ってなに？

従来のDV規格のテープにハイビジョンテレビと同等の画質の映像を記録するための規格です。HDV規格は従来のテレビの画質に比べて、有効走査線数が1080本と約2倍以上、全体の画素数は約4倍以上に。高精細で臨場感のある映像を楽しめます。

1080本

撮影した映像をテレビで見るには？

- **ハイビジョンテレビで見る（📖90）**
  ハイビジョンで撮影した映像を、高画質のまま見ることができます。

- **従来の標準画質のテレビで見る（📖91）**
  ハイビジョンで撮影した映像を、標準画質でお楽しみいただけます。

子どものかわいい表情をキレイに撮りたい

美肌モードで撮る（📖65）

映画の場面のように撮りたい

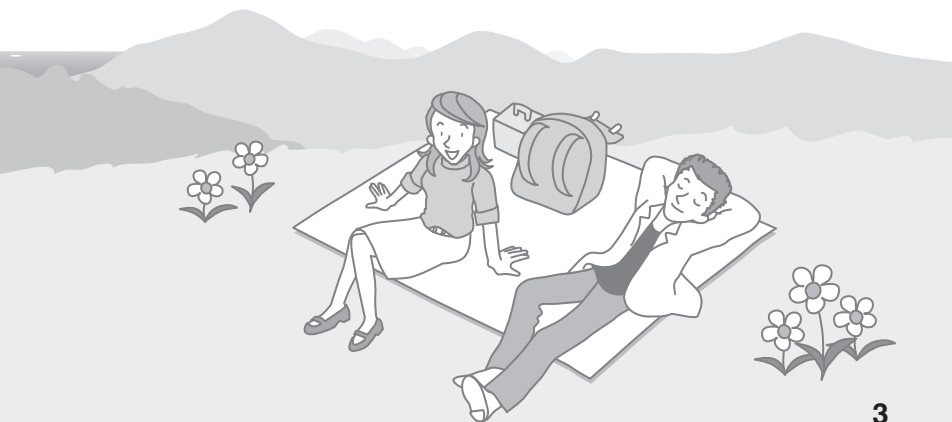
シネマモードで撮る（📖40）

映画のコマ数で撮る（📖75）

海外旅行での美しい風景や楽しいひとときを残したい

海外の旅先で撮る（📖137）

思い出のつまった映像をパソコンに取り込みたい

映像を取り込む（📖101）

もくじ

1 はじめに
まず確認しましょう。

2 準備しよう
撮影の準備をします。

3 かんたん！
簡単に撮って、画像を再生してみましょう。

撮る

見る

4 ステップアップ
好みに応じて撮影方法を選びます。

撮る

お買い上げ時の設定を変える

5 編集する
画像を編集しましょう。

6 テレビやビデオにつなぐ
テレビで見たり、ダビングします。

7 パソコンにつなぐ
パソコンに画像を送ります。

8 印刷する
静止画を印刷します。

9 困ったときに
困ったときはここを見ます。

10 守ってほしいこと
お手入れはきちんとしましょう。

11 お知らせ
海外で使うときや仕様について。

1 この本の読みかた

この本では記号や特別な表記が使用されています。ここでは、それらを説明します。

ドライブモード
連写する

電源 カメラ　記録先 ◻　モード P

運動会で走る子供を連続して静止画で記録したり、子供の表情を自動的に3段階の明るさにして撮ったりできます。

1 押す

2 目的のドライブモードを選ぶ

❶上下に押して ◻（ドライブモード）を選ぶ

❷左右に押していずれかを選ぶ

3 押す

単写	1枚の静止画を撮影。
連写	連続撮影。
高速連写	高速の連続撮影。
AEB	標準、暗め、明るめの順で3枚の静止画を連続撮影。撮影後、最適な明るさを簡単に選べる。

4 浅く押す

● ピントを合わせる。

5 連写／高速連写の場合 深く押し続ける

AEBの場合 深く押す

ステップアップ・お買い上げ時の設定を変える

● 撮影モードをSCNの「打上げ花火」に設定しているときは操作できません。

● AEBは、Auto Exposure Bracketing の略。

● 1回の連写で記録できる最大枚数の目安

1秒あたりの記録枚数			連続記録可能枚数
連写	高速連写	フラッシュ使用時	
約3枚	約5枚	約2.1枚	60枚

*枚数は撮影条件や被写体によって変わります。が出ているときは、1秒あたりの連写枚数が少なくなります。

65

スイッチの位置を示すマーク

電源 カメラ　電源スイッチの位置。この場合は**カメラ**の位置に合わせる。ほかに**再生**、切 がある。

記録先 ◻　テープ／カードの切り換えスイッチの位置。この場合は ◻（カード）の位置に合わせる。ほかに ◻（テープ）がある。

モード P, AUTO　モードスイッチの位置。この場合はPまたは AUTO の位置に合わせる。

欄外のマーク

守ってほしいこと。

知っておいてほしいこと。

画面に表示されるマーク

テープに動画を記録する。

テープの動画を再生する。

カードに静止画を記録する。

カードの静止画を再生する。

本文中の表記

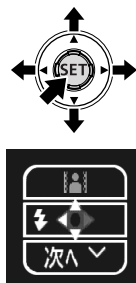
（ 10）	参照ページのこと。
画面	「液晶画面」または「ファインダーの画面」のこと。
カード	「miniSDカード」のこと。
画像	「静止画」または「動画」のこと。両方を指す場合もある。

* 画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

ジョイスティックの使い方について

ジョイスティックは、FUNC メニューの項目を選んだり、画面に出る操作案内から機能を選んでビデオカメラを操作します。

操作案内は、ジョイスティックのSETを押すことで、表示されます。本書では、画面に出る操作案内から選んだ機能を「　」に入れて、＜「ϟ（フラッシュ）」を押す＞のように表記しています。

本文中、SET ボタンはSETと表しています。

商標について

- miniSD™は、SDカードアソシエーションの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista™は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- “Mini DV”ロゴは商標です。
- HDVおよびHDVロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-2使用許諾について

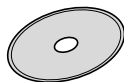
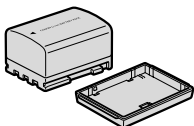
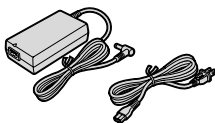
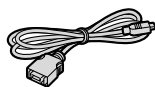
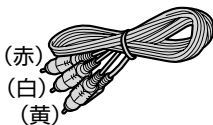
個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C.,（250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA）から取得可能です。

付属品をお確かめください

お使いになる前に、付属品が全てそろっているかどうか確認しましょう！

HV30使用説明書

Canon DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK
使用説明書
スタートガイド

コイン型リチウム電池 CR2025
（リモコン用）

DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK CD-ROM
DIGITAL VIDEO SOFTWAREの使用説明書がPDFで入っています。

バッテリー*　BP-2L13
とバッテリーケース
*バッテリーパック

コンパクトパワーアダプター
CA-570と電源コード

D端子ケーブル DTC-100/S

ステレオビデオケーブル
STV-250N

USBケーブル IFC-300PCU

リモコン* WL-D87
*ワイヤレスコントローラー

かならずお読みください

撮影する前に、ここに記載していることをかならずお読みください。

かならず「ためし撮り」してください

事前にためし撮りをして、正常に録画･録音されていることを確認してください。ビデオカメラが正常に動作しない場合、「故障かな?」(📖 118)をご覧ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラやテープ、カードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

DV録画モードについて

標準(SP)、長時間(LP)の中から録画モードを選びます。長時間モードでは、テープの特性や使用環境に影響され、再生時画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合がありますので、大切な撮影には標準モードをお使いください。

液晶画面やファインダーについて

液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

HDV記録時のテープについて

HDV記録用には、HDV対応テープの使用をおすすめします。

安全にお使いいただくために

お使いになる方だけでなく、周囲の方にも危害や損害を与えないように、ここに書いてあることをお守りください。

⚠警告　火災、感電、破裂などにより、死亡や重傷を負うおそれがあるもの

⚠注意　傷害を負うおそれや、物的損害を受けるおそれがあるもの

■このようなときは　⚠警告

煙が出ている、へんな臭いがする、本機を落とした、外装をこわした、内部に水や異物が入った。

プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーもはずす。

火災、感電の原因。キヤノンサービスセンターまたは購入販売店に修理を依頼する。

雷が鳴り出した。

接触禁止

電源プラグには触れない。
感電の原因。

バッテリーから液もれした。

禁止

使用しない。
皮膚の障害、失明、発火の原因。

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。万一、目などに入ったときは､きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

■お使いになるときは　⚠警告

分解や改造をしない。

分解禁止

発熱、火災、感電、けがの原因。

強い衝撃や振動を与えない。

禁止

破損して火災、やけど、けがの原因。特に、液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

指定された機器を使う。

強制

火災、感電、けがの原因。

機器内部に金属類を入れない。端子部に金属類をショートさせない。カセット挿入口から金属類や燃えやすいものを差し込まない。

禁止

火災、感電、けがの原因。

ぬらさない。

水ぬれ禁止

火災、感電、やけどの原因。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、とくに注意する。

絶対に、バッテリー、コイン型リチウム電池などを、加熱や火中投入しない。

禁止

破裂により、やけど、けがの原因。

電源コードを傷つけない。
・加工しない。無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。熱機具に近付けたり、加熱したりしない。
・必ずプラグを持って抜く。

禁止

芯線が露出したり、断線すると火災、感電の原因。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

強制

火災、感電の原因。

充電中は長時間触れない。

禁止

低温やけどの原因。

海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。

禁止

火災、感電、けがの原因。

⚠注意

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。

強制

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

ぬれ手禁止

感電の原因。

コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまない。

禁止

発熱により、やけどの原因。

コード類は、つまづかないように配置する。

強制

足を引っ掛けて、転倒したり製品が落ちたりして、けがの原因。

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは確実に取り付ける。

強制

脱落すると、けがの原因。

バッテリーやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。

強制

落ちると、けがの原因。

■使用・保管するとき

⚠警告

風呂場などの湿度の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所で使用、保管しない。

風呂場、シャワー室での使用禁止

内部に水などが入ると、火災、感電、やけどの原因。

直射日光下やストーブ、照明器具のそばなど、60℃以上の高温の場所や炎天下の密閉された車の中に置かない。

禁止

発熱や破裂により、火災、やけど、けがの原因。

不安定な場所に置かない。

禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因。

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。

強制

火災の原因。

バッテリーの端子部に金属製のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。

禁止

「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因。

⚠注意

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

プラグをコンセントから抜く

火災の原因。

■撮るとき

⚠警告

運転中に使用しない。

禁止

交通事故の原因。

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。

強制

けが、交通事故の原因。

■お子様がそばにいるとき　⚠警告

コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置く。

強制

万一飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがあるため、すぐに医師に相談する。

乳幼児の手の届かないところに置く。

強制

感電、けがの原因。

⚠注意

カセットの挿入口に、指をはさまれないようにする。

指をはさまれないよう注意

けがの原因。

■フラッシュ・ミニビデオライトを使うとき　⚠注意

フラッシュを目に近づけて発光しない。

禁止

目を痛める原因。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

車の運転者に向けてフラッシュやミニビデオライトを使用しない。

禁止

事故の原因。

フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。

禁止

やけどの原因。

5 各部のなまえ

（　）内の数字は参照ページです。

左面

右面

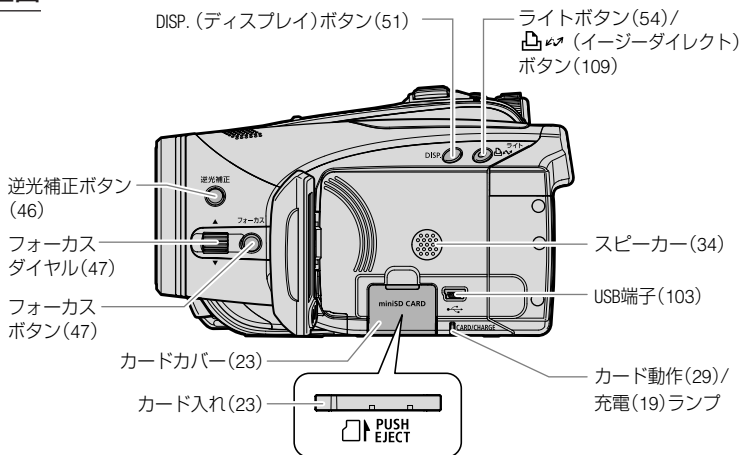
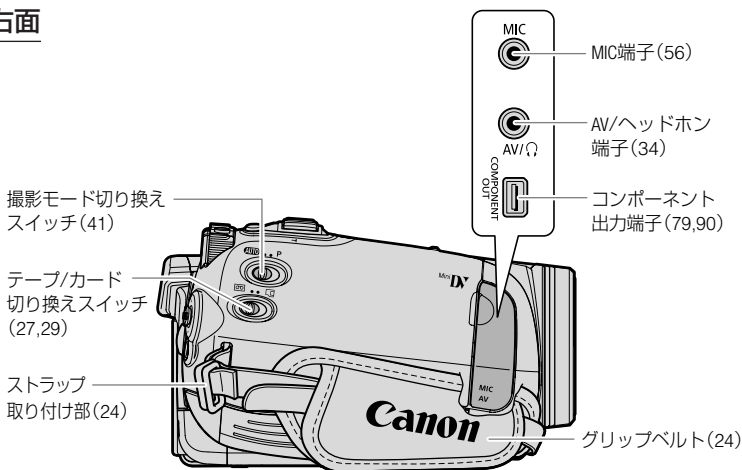
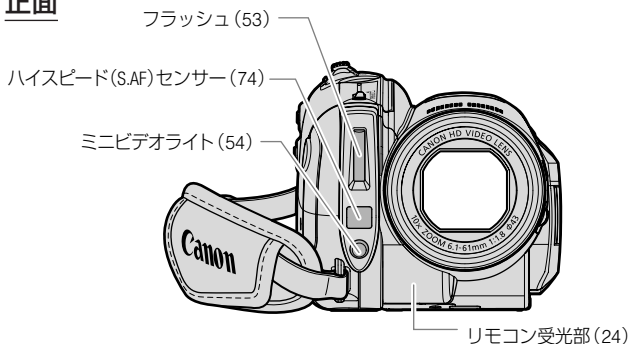
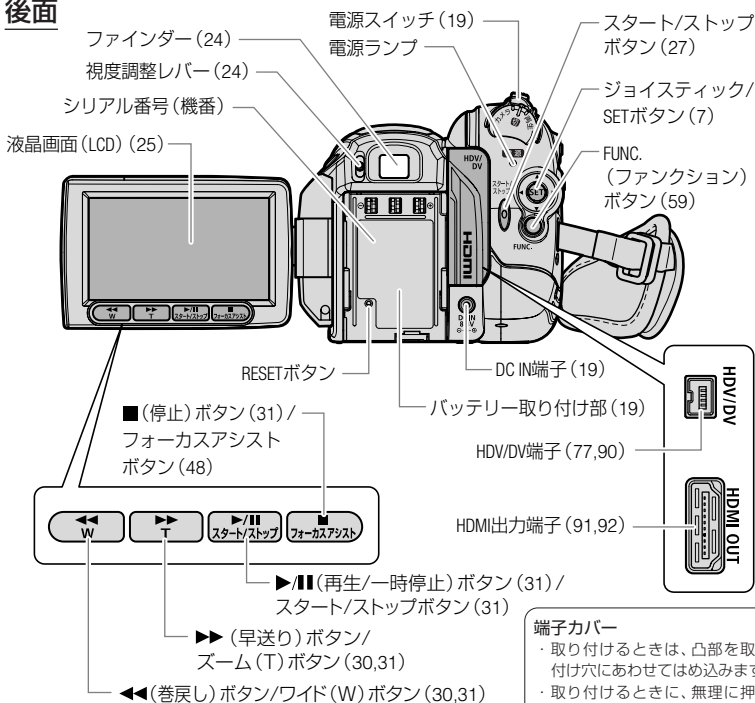
各部のなまえ

正面

後面

ファインダー（24）
視度調整レバー（24）
シリアル番号（機番）
液晶画面（LCD）（25）
電源スイッチ（19）
電源ランプ
スタート/ストップボタン（27）
ジョイスティック/SETボタン（7）
FUNC.（ファンクション）ボタン（59）
RESETボタン
DC IN端子（19）
バッテリー取り付け部（19）
HDV/DV端子（77,90）
HDMI出力端子（91,92）
HDV/DV
HDMI OUT

■（停止）ボタン（31）/フォーカスアシストボタン（48）
▶/❚❚（再生/一時停止）ボタン（31）/スタート/ストップボタン（31）
▶▶（早送り）ボタン/ズーム（T）ボタン（30,31）
◀◀（巻戻し）ボタン/ワイド（W）ボタン（30,31）

◀◀ W　▶▶ T　▶/❚❚ スタート/ストップ　■ フォーカスアシスト

端子カバー
- 取り付けるときは、凸部を取り付け穴にあわせてはめ込みます。
- 取り付けるときに、無理に押し込まないでください。

各部のなまえ

上面

OPEN/EJECT ⏏（開く/カセット取り出し）スイッチ（22）

ズームレバー（30,39）

PHOTO（フォト）ボタン（29）

カセット入れ（22）

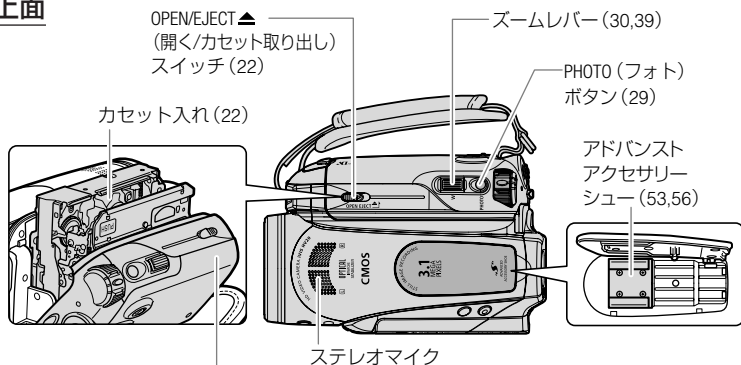
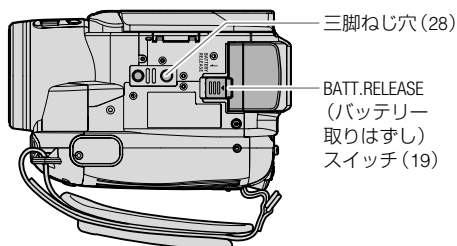
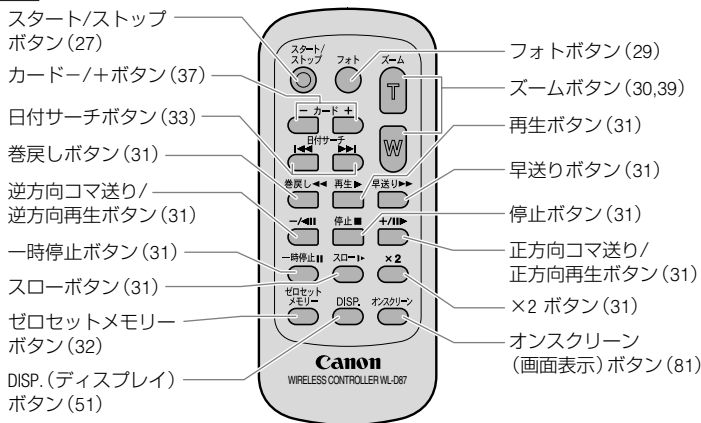
アドバンスト アクセサリー シュー（53,56）

ステレオマイク

グリップカバー（22）

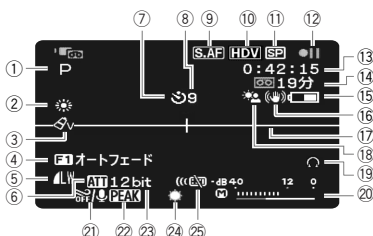
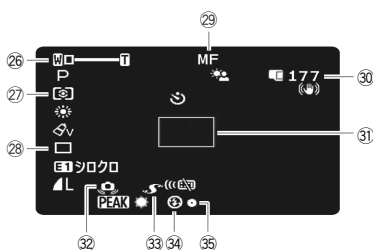
底面

三脚ねじ穴（28）

BATT.RELEASE（バッテリー取りはずし）スイッチ（19）

リモコン

画面の表示

（　）内の数字は参照ページです。

撮る

動画（カメラ/📼）

静止画（カメラ/□）

① 撮影モード（41）
② ホワイトバランス（63）
③ 画質効果（65）
④ デジタルエフェクト（67）
⑤ 静止画画質／サイズ（69）
⑥ マイクATT（50）
⑦ セルフタイマー（57）
⑧ お知らせタイマー
⑨ ハイスピードAF（73）
⑩ 録画規格（75）
⑪ DV録画モード（75）
⑫ 撮影状況（27）
⑬ 撮影時間（時：分：秒）
⑭ テープ残量
⑮ バッテリー残量（18）
⑯ 手ぶれ補正（74）
⑰ 水平マーカー（81）
⑱ 逆光補正（46）
⑲ ヘッドホン（34）
⑳ レベルメーター（49）
㉑ ウィンドカット（76）
㉒ 撮影アシスト（81）
㉓ DVオーディオモード（76）
㉔ ミニビデオライト（54）
㉕ リモコンセンサー（82）
㉖ ズーム（30）、露出 ●━┃━○（46）
㉗ 測光方式（62）
㉘ ドライブモード（66）
㉙ マニュアルフォーカス（47）
㉚ 静止画の記録可能枚数（69）
㉛ AF枠（74）
㉜ 手ぶれ警告（74）
㉝ アドバンストアクセサリーシュー（53,56）
㉞ フラッシュ（53）
㉟ 静止画記録でのピントと露出の状態（29）

■テープ残量

・撮影中にテープがなくなると「📼END」が点灯し、停止します。
・テープの種類によっては、正しく表示されないことがありますが、テープに記載されている時間（「85分」など）の撮影ができます。

■お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。一つの場面が短いと、落ち着きのない画面になりますので､お知らせタイマーを目安にしながら撮影します。

画面の表示

■バッテリー残量の目安

・「」が赤く点滅したら、充電したバッテリーと交換します。
・消耗したバッテリーを使用すると、電源が入らなかったり、「」が出ずに電源が切れたりすることがあります。
・本機やバッテリーの状態によっては実際の残量と表示内容は、一致しない場合があります。

■テープ撮影／再生状況

●：撮影(録画)、●❚❚：撮影一時停止、◀×1／▶／×1▶：再生、◀×2／×2▶：2倍速再生、▶❚❚：再生一時停止、▶▶：早送り、◀◀：巻戻し、◀❚❚／❚❚▶：コマ送り、◀❚／❚▶：スロー再生、▶▶：早送り再生、◀◀：巻戻し再生

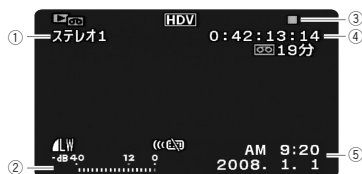
■静止画の記録可能枚数

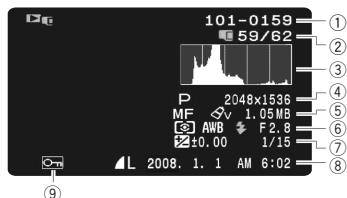
記録可能枚数は、記録時の状況により異なる場合があります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減るなどです。

■書き込み表示(▶)

静止画を書き込んでいるときに、「▶」が表示されます。

見る

動画(再生/)

① 音声出力(78)
② レベルメーター(49)
③ 再生状況
④ 再生時間(時：分：秒：フレーム*)
⑤ データコード(51)
* 1秒の1/30の単位

静止画(再生/)

① 画像番号(76)
② 表示番号／全枚数
③ ヒストグラム(52)
④ 撮影モード(41)/静止画サイズ(69)
⑤ フォーカス(47)/画質効果(65)/データ量
⑥ 測光方式(62)/ホワイトバランス(63)/フラッシュ(53)/しぼり値(42)
⑦ 露出調整(46)/シャッタースピード(42)
⑧ 静止画画質(69)/画像サイズ(69)/日時(26)
⑨ 画像プロテクト(87)

STEP 1 バッテリーを充電する

バッテリーを充電しましょう! バッテリーは本体にセットし、家庭用コンセントから充電します。まず、バッテリーからカバー(ショート防止用)を取りはずしておきましょう。

準備

1 切 にする

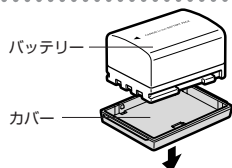
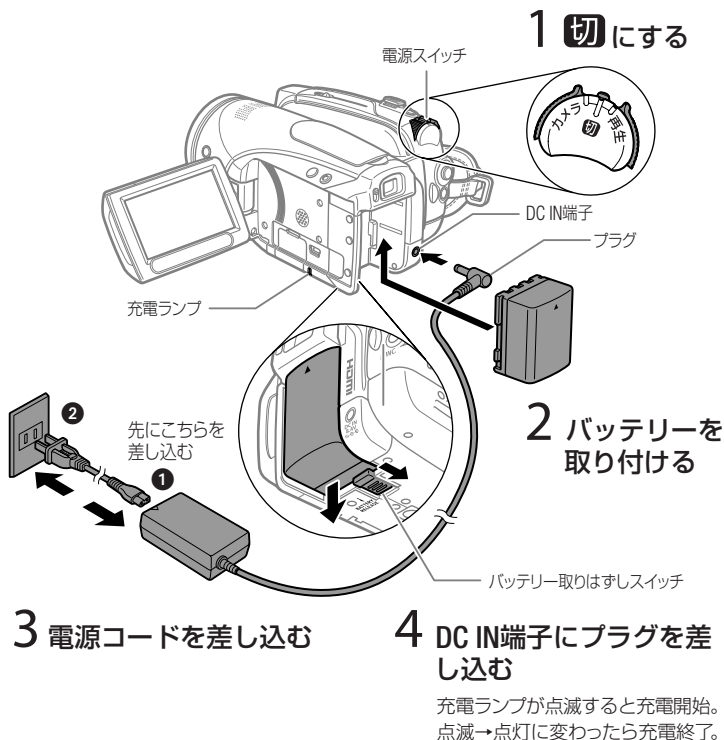
電源スイッチ
カメラ
切
再生

2 バッテリーを取り付ける

DC IN端子
プラグ
充電ランプ
先にこちらを差し込む
❶
❷
バッテリー取りはずしスイッチ

3 電源コードを差し込む

4 DC IN端子にプラグを差し込む

充電ランプが点滅すると充電開始。
点滅→点灯に変わったら充電終了。

充電がおわったら

プラグを本体のDC IN端子から抜き、続いて電源コードをコンセントから抜く。

バッテリーを取りはずす

バッテリー取りはずしスイッチを矢印の方向に押して、バッテリーを取りはずす。

つづく

バッテリーを充電する

- コンパクトパワーアダプターを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。
- 10℃～30℃の範囲で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上では、充電できません。

- バッテリーの残りを気にせず使うときは、家庭用コンセントにつないで使います。
- 付属のバッテリーBP-2L13と別売のBP-2L14、NB-2LH、BP-2L24Hをフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです(単位：分)。

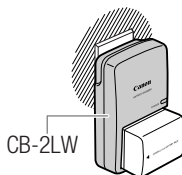
録画モード			連続撮影時間				実撮影時間*			
			BP-2L13	BP-2L14	NB-2LH	BP-2L24H	BP-2L13	BP-2L14	NB-2LH	BP-2L24H
HDV	ファインダー使用時		120	150	70	240	75	85	40	145
HDV	液晶画面使用時	標準	115	140	65	230	70	80	35	140
HDV	液晶画面使用時	明るい	110	135	65	220	65	80	35	135
DV	ファインダー使用時		140	165	80	290	80	95	45	160
DV	液晶画面使用時	標準	135	155	75	280	75	90	45	155
DV	液晶画面使用時	明るい	125	150	75	265	75	85	40	150

録画モード			再生時間			
			BP-2L13	BP-2L14	NB-2LH	BP-2L24H
HDV	ファインダー使用時		145	175	85	290
HDV	液晶画面使用時	標準				
HDV	液晶画面使用時	明るい				
DV	ファインダー使用時		165	195	95	340
DV	液晶画面使用時	標準				
DV	液晶画面使用時	明るい				

* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間の目安です。

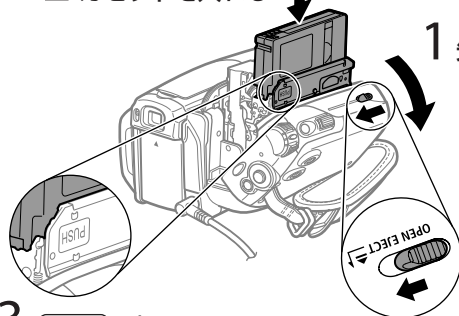
- 充電時間はBP-2L13が約200分、BP-2L14が約225分、NB-2LHが約130分、BP-2L24Hが約370分です。
- コンパクトパワーアダプターやバッテリーに異常があるときは、充電ランプが0.5秒に1回の点滅になり、充電を中止します。
- 充電ランプの光りかたで、充電した量が分かります。
  点灯：充電完了、点滅(約2回/秒)：半分以上、点滅(約1回/秒)：半分以下
- 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。

バッテリーを充電する

- バッテリーは、別売のバッテリーチャージャーCB-2LWで約175分で充電できます。詳しくは、バッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。

- **バッテリーは、予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください。**
  ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。

STEP2 カセットを入れる

カセットは、MiniDVマークの付いたものをお使いください。

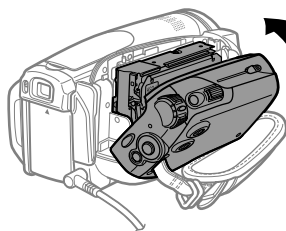
2 カセットを入れる

1 矢印方向にずらしたまま、カバーが止まるまで開く

カセット入れが自動で開く。

OPEN EJECT

PUSH

3 (PUSH)を押して、カセット入れを閉める

カセット入れが自動で収納される。

4 カバーを閉じる

カセット入れが完全に収納されてから閉じる。

- カセット入れが自動で動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、カバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。
- カバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

電源を取り付けていると、電源スイッチが「切」でも、カセットの出し入れはできます。

STEP3 カードを入れる

本機では、市販のminiSDカードをお使いください。

1 切にする

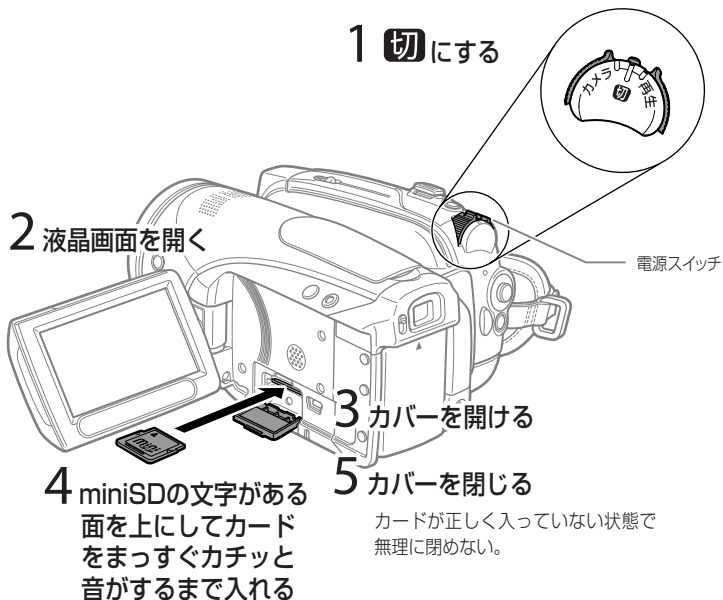
電源スイッチ

2 液晶画面を開く

3 カバーを開ける

4 miniSDの文字がある面を上にしてカードをまっすぐカチッと音がするまで入れる

5 カバーを閉じる

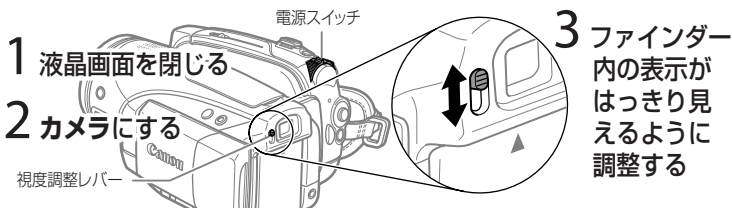
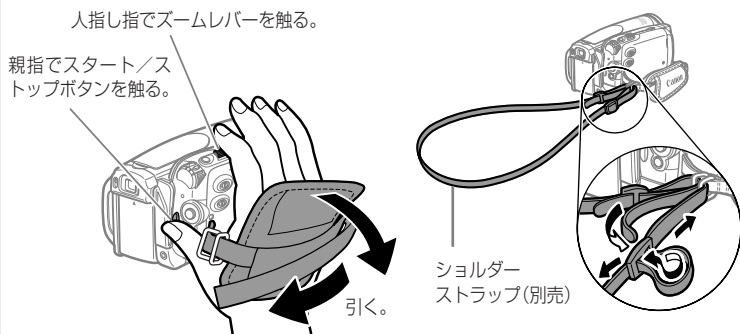
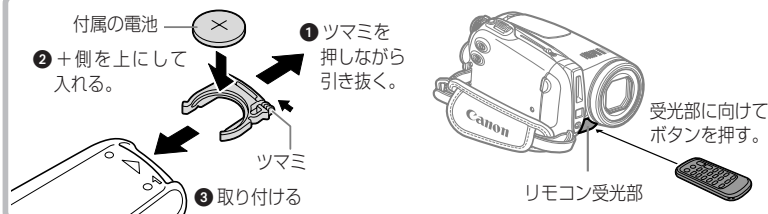
カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

カードを出す

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

- カードをはじめて使用するときは、必ず本機で初期化してください（📖 88）。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。正しい向きで入れてください。

すべてのカードの動作を保証するものではありません。

STEP4 カメラと付属品を準備する

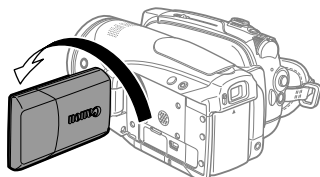
ファインダーを調整する

グリップベルトや別売のストラップを調整する

リモコンを使う

- リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- リモコンで操作できないときは、メニューで「リモコンセンサー」を「入」にしてください（📖 82）。または電池を交換してください。

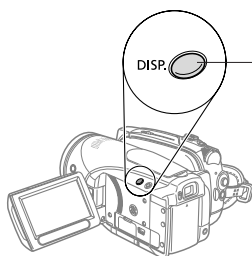
STEP 5 液晶画面を調整する

■ 位置を調整する

画面を手前に90度引いて開き、見やすい位置まで回転させます。

液晶画面を相手に見せて撮る

液晶画面を相手に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。
画面をレンズと同じ方向を向くように回転させます。

■ 明るさを調整する

画面の明るさを「標準」と「明るい」の2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは「明るい」に切り換えてください。

2秒以上押す

2秒以上押すごとに明るさが切り換わる。

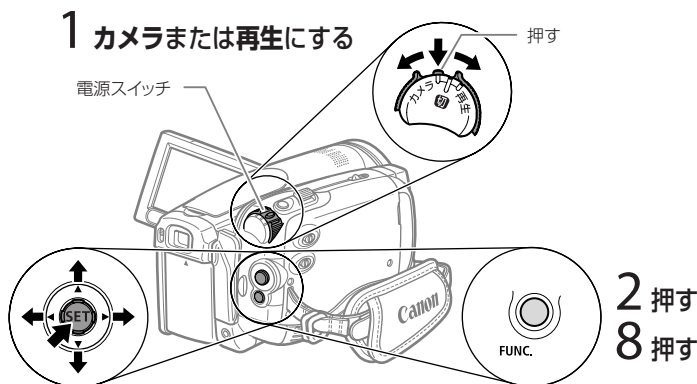
- 液晶画面の明るさを調整しても、テープやカードに記録される映像の明るさには影響ありません。
- 液晶画面の明るさを「明るい」にすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- メニューでも液晶画面の明るさを調整できます（📖 80）。

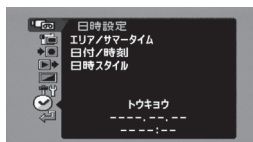
STEP6 時計を合わせる

現在の地域（エリア）を選んでから、時計を合わせます。

1 **カメラ**または**再生**にする

2 押す

8 押す

3 上下に押して「メニュー」を選び、**SET**を押す

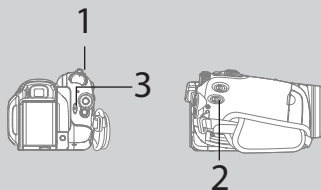
4 上下に押して「日時設定」を選び、**SET**を押す

5 上下に押して「エリア／サマータイム」を選び、**SET**を押す

6 上下に押して「日付／時刻」を選び、**SET**を押す

7 左右に押して、設定したい項目を選び、上下に押して、数字を選ぶ

- 本機を3ヶ月くらい使わないと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して、日付／時刻の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（🕮 132）。
- 日時スタイルも変更できます（🕮 82）。

動画を撮る

必ずためし撮りをし、正しく記録されているか確認してください。大切な撮影の前には市販の乾式のクリーニングカセットでクリーニングをすることをおすすめします。

1 カメラにする

2 テープにする

● 必要に応じて、録画規格（HDV/DV）を設定する（□ 75）。

3 押す

● 撮影（録画）が始まる。

● もう一度押すと撮影一時停止になる。

撮った場面を確認する

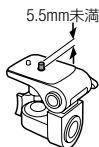
ジョイスティックの**SET**を押して操作案内を出します。下に押して⏎のページを出して、⏎を押します。最後の場面が約3秒間再生され、撮影一時停止に戻ります。現在の録画規格と、テープに記録されている録画規格が異なる場合は、映像が正しく再生されません。

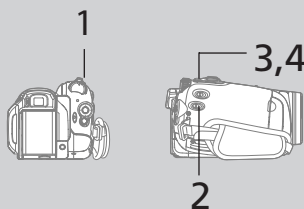
* この機能は、撮影モード切り換えスイッチが**P**のときに使えます。

撮影が終わったら

液晶画面を垂直にして閉じてから電源スイッチを「切」にします。テープを取り出し、バッテリーをはずします。

つづく▶

- ビデオカメラは安定させて撮影しましょう。すばやくズームしたり、ビデオカメラを揺らしたり、左右に振ったりして撮影した映像を再生すると、乗り物酔いのような症状が出ることがあります。
  このような症状が出た場合はすぐに再生を中止し、健康のため、適度な休憩を取ってください。
- テープは上書きされると、記録が消えます。撮影前にテープに記録されている最後の部分を出してください。
- テープとヘッドの保護のため、撮影一時停止状態（●❚❚）が約4分30秒続くと停止状態（■）になります。撮影を始めるときはスタート/ストップボタンを押します。
- 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、小さく記録されることがありますが、故障ではありません。
- **バッテリーを使っているときは、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます（ 📖 82）。このときは電源を入れ直してください。**
- **三脚を使うとき**
  - ファインダーを太陽に向けないでください。
  - 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。本体を破損することがあります。

静止画を撮る

はじめてカードに静止画を記録する場合は、カードを初期化してください（🕮 88）。

1 カメラにする

2 にする

3 浅く押し続ける

● ピントを調整し、終わると●が緑色になって緑色の枠が出る。

● リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まる。

4 深く押す

● 記録が始まる。

● カード動作ランプが点滅。

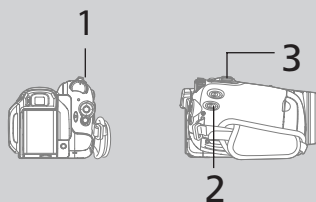
画面右上に▶ が出たり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。

・ カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
・ 電源を切らない。電源スイッチやテープ／カード切り換えスイッチを切り換えない。
・ バッテリーなどの電源を取りはずさない。

● 自動でピントが合いにくい被写体の場合は、●が黄色くなります。手動でピントを調整してください（🕮 47）。

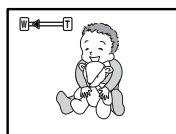
● 被写体が明るすぎると「露出オーバー」が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-43UⅡのNDフィルターを取り付けてください。

ズームを使う

被写体の大きさを調整します。10倍の光学ズームを使用できます。動画撮影時は200倍のデジタルズームも使用できます（□ 73）。

1 カメラにする

2 または を選ぶ

3 W側またはT側に押す

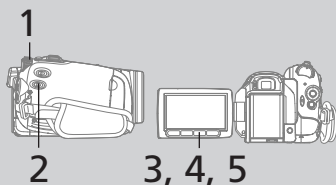
- 拡大する時はT側、縮小する時はW側に押す。

- ビデオカメラの本体を操作するときのズームスピードは、ズームレバーの押しかたで変わる可変速と、一定のスピード（1～3）をメニューで選べます（□ 73）。可変速を選ぶと、ズームレバーを少し押すと低速ズームに、さらに押すと高速ズームになります。
- リモコンおよび液晶画面のズーム（**T**）/ワイド（**W**）ボタンで操作するときのズームスピードは、以下のようになります。
  - ・ ズームスピード1～3に設定：本機でのズームスピード1～3と同速。
  - ・ 可変速に設定：本機でのズームスピード3と同速。
- メニューでズームスピードを可変速に設定していると、撮影一時停止中、ズームスピードはより速くなります。
- **T**はtelephoto（望遠）、**W**はwide（広角）の頭文字です。
- ズームをしながら撮影するときは、被写体から1m以上離れてください。W側いっぱいまで動かすと、約1cmまで近づいて撮影できます。

動画を見る

液晶画面で動画を再生しましょう。液晶画面を閉じると、ファインダーで見ることができます。

1 再生にする

2 にする

3 押す

- 巻戻る。
- 早送りするときは、▶▶（早送り）ボタンを押す。

4 押す

- 再生が始まる。
- 再生一時停止にするときは、もう一度押す。

5 押す

■
フォーカスアシスト

- 再生が終わる。

早送り/巻戻し再生	再生／早送り中に▶▶（早送り）ボタン、再生／巻戻し中に◀◀（巻戻し）ボタンを押し続けると、映像を再生しながら早送り/巻戻しされます。
逆方向に再生する	再生中にリモコンの－/◀IIボタンを押します。
コマ送りする	再生一時停止中にリモコンの＋/II▶または－/◀IIボタンを押します。押し続けると連続のコマ送りになります。
スロー再生する	再生／逆方向再生中にリモコンの◀I（スロー）ボタンを押します。
2倍速再生する	再生／逆方向再生中にリモコンの×2ボタンを押します。

上記のような再生をするときは音声は聞こえません。▶（再生）ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。

つづく

- 再生中、撮影した日時やカメラデータも表示できます（□ 50）。
- 早送り/巻戻し、逆方向再生などを行っているとき画面が乱れることがあります。
- HDV規格、DV規格が切り換わるところでは、画面が乱れます。
- HDV規格で撮影した映像は、画面に表示が出ても、逆方向スロー、逆方向コマ送り、正方向/逆方向2倍速再生はされません。
- テープとヘッドの保護のため、再生一時停止（▶❚❚）が約4分30秒続くと停止状態（■）になります。再生を始めるときは▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押します。

■ 見たい場面に戻る（ゼロセットメモリー）

電源 カメラ・再生　記録先 テープ

あとでもう一度見たいと思う場面があったときに、ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。

1 撮影／再生中 **あとで見たい場面のところで押す**

- 「0：00：00M」が出る。
- もう一度押すと解除される。

2 撮影中 **撮影が終わったら再生にする**

再生中 **再生が終わったら、押す**

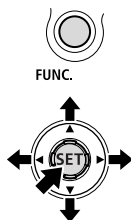
3 **押す**

- 数字の前に「－」がついているときは、▶▶（早送り）ボタンを押す。
- 「0：00：00」となる付近で自動的に停止し、「M」が消える。

テープの途中に未記録部分があったり、HDV/DV規格の映像が混在していると、ゼロセットメモリーを設定した場面で正しく停止しないことがあります。

■ 最後の場面を探す（エンドサーチ）

電源 再生 記録先

最後に撮影した場面の後ろから、続けて撮影したいときに使います。

1 テープ停止中 押す

2 上下に押し「→I（エンドサーチ）」を選ぶ。

❶SETを押す
❷左右に押して「実行」を選ぶ

● テープが早送り／巻戻しされ、最後に撮影した場面が数秒間再生された後に停止する。

中止するとき

■（停止）ボタンを押す。

● 一度テープを取り出すと、エンドサーチは使用できません。
● テープの途中に未記録部分があったり、HDV/DV規格の映像が混在していると、エンドサーチが正しく動作しないことがあります。

■ 日付の変わる場所を探す（日付サーチ）

電源 再生 記録先

撮影した日付の変わる場所を探します。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わる場所もサーチします。

リモコン

1 押す

● 押した数だけ、前または後ろの日付が変わる場所（最多10）に頭出しされる。

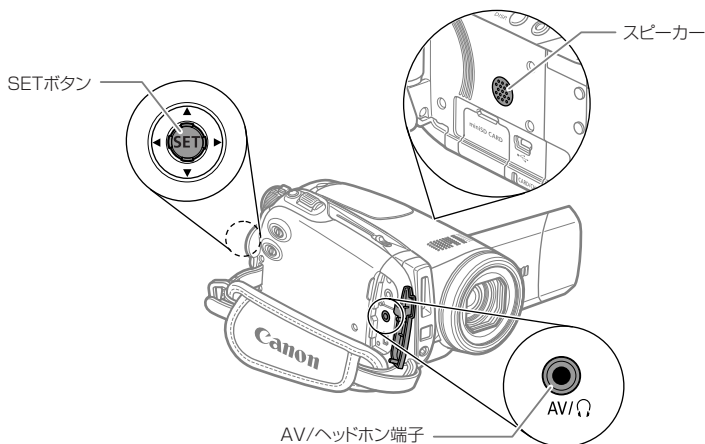
中止するとき

■（停止）ボタンを押す。

● 日付サーチを行うときは、1日/エリア当たり1分以上撮影してあることが必要です。
● 撮影した日時やカメラデータが正しく表示されていないときは、日付サーチは動作しません。
● HDV/DV規格の映像が混在していると、日付サーチが正しく動作しないことがあります。

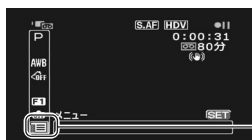
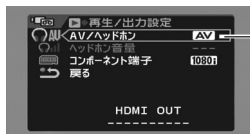
音量を調整する（スピーカー、ヘッドホン）

電源 カメラ・再生　記録先

テープを再生するときは、スピーカーで音声も聞くことができます。液晶画面を閉じるとスピーカーからの音声は出なくなります。このときは、ヘッドホンを使って音声を聞くことができます。ヘッドホンは撮影のときにも使えます。

■ ヘッドホンを使う

（ヘッドホン）端子は、AV（映像/音声）端子と共通です。ヘッドホンは、画面に「 」の表示が出ているときに使用できます。「 」が出ていない場合は、「ヘッドホン」に設定してから接続して下さい。

1 押す

2 メニューを選ぶ

上下に押してメニューを選ぶ
→SETを押す

3 「 (ヘッドホン)」を選ぶ

❶上下に押して「再生/出力設定」を選び、SETを押す→「AV/ヘッドホン」を選び、SETを押す

● テープ再生では、「再生/出力設定2」になる。

❷下に押して「ヘッドホン」選ぶ→SETを押す

4 押す

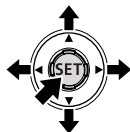
● 画面に「 」が出る。

ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

■ スピーカー、ヘッドホンの音量を調整する

撮影のときはヘッドホン、再生のときはスピーカー、ヘッドホンの音量の調整ができます。

● 撮影

1 押す

2 上下に押してメニューを選び、**SET**を押す

3 ヘッドホン音量を調整する

❶上下に押して「再生/出力設定」を選び、SETを押す→「ヘッドホン音量」を選び、SETを押す

つづく

かんたん・見る

音量を調整する（スピーカー、ヘッドホン）

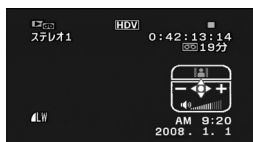
❷左右に押してヘッドホン音量を調整する→SETを押す

● 🎧OFF になっているときは、そのままジョイスティックを右に押すと、音量調整画面になる。

4 押す

● 再生

1 SETを押す

2 左右に押して、音量を調整する

● 🔈OFF になっているときは、そのままジョイスティックを右に押すと、音量調整の操作案内になる。

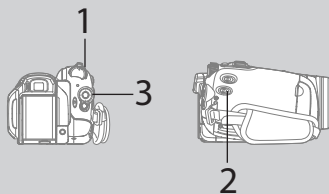
3 SETを押す

● 画面に「🎧」が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。出ていないときに、ヘッドホンを接続すると、雑音が出ます。
● ヘッドホンに設定しているときは、スピーカーから音声は出ません。

● 再生時は、電源を切るとAV（映像/音声）に戻ります。
● 撮影中は、ヘッドホンの音量調整はできません。

ジャンプ、スライドショー、インデックス

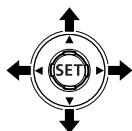
静止画を見る

撮った静止画を見てみましょう。スライドショーで再生したり、インデックス画面から静止画を選ぶこともできます。

1 再生にする

2 にする

3 静止画を選ぶ

すばやく探す（ジャンプ機能）

1枚ずつ再生せずに、離れた静止画まで一気にジャンプできます。

1 SETを押す

2 上に押し「 （ジャンプ機能）」を選ぶ

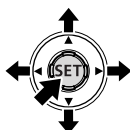
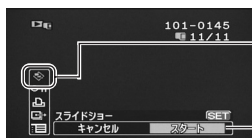
❶上下に押し、10枚、または、100枚単位でジャンプするかを選ぶ

❷左右に押し、ジャンプする

- 画面右上に▶ が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
  - 電源を切らない。電源スイッチやテープ/カード切り換えスイッチを切り換えない。
  - バッテリーなどの電源を取りはずさない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき
  - パソコンで作成や加工をしたとき
  - ファイル名を変更したとき

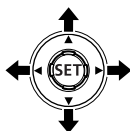
静止画を見る

■ 順番に再生する（スライドショー）

1 押す

2 スライドショーを選ぶ

❶上下に押して（スライドショー）を選ぶ→SETを押す。
❷「スタート」を選ぶ→SETを押す。

スライドショーを止める

FUNC.ボタンを押す。

■ インデックス画面から選ぶ

1 W側に押す

2 上下左右に押す

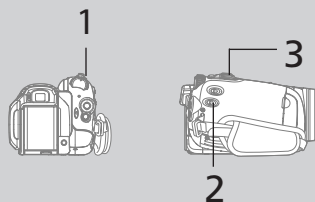
緑色の枠

- 緑色の枠を再生したい静止画に合わせる。
- もう一度ズームレバーをW側に押し、ジョイスティックを左右に押すと、画面単位で切り換えられる。画面単位の表示をやめるときはT側に押す。

3 T側に押す

- 選んだ1枚の静止画が画面に出る。

再生ズーム
画面を拡大する

動画や静止画を最大5倍まで拡大可能。
拡大した状態で画像を上下左右に動かして
見たい箇所を表示することもできます。

1 再生にする

2 [テープ]または[カード]を選ぶ

3 画像表示中 T側にする

- 拡大した画像を縮小したいときはW側にする。
- 拡大できない画像の場合、[拡大不可マーク]が表示される。

画像を上下左右に動かす

拡大した後、画像を上下左右に移動できます。

◀ ▶ ▲▼が表示されている状態で、上下左右に動かすと画像が上下左右に動く。

画面の拡大をやめる

拡大表示枠が消えるまでW側に押し続けます。

この拡大表示枠が消えるまで押し続ける。

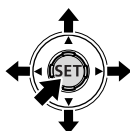
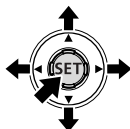
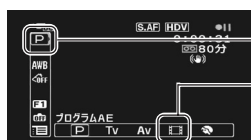
かんたん ● 見る

映画のように撮る

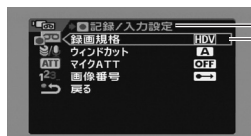
電源	記録先	モード
カメラ	(テープ)	P

■ シネマエフェクト

シネマエフェクトを使用すると映画のような雰囲気のある映像を撮影できます。

1 押す

2 シネマモードを選ぶ

❶上下に押してPを選ぶ

❷左右に押して（シネマモード）を選ぶ

3 記録規格をPF24にする

❶上下に押してメニューを選びSETを押す

❷上下に押して「記録/入力設定」を選びSETを押す→「録画規格」を選びSET押す

❸上下に押してHDV 24 を選ぶ→SETを押す

❹上下に押して「はい」を選ぶ→SETを押す

撮影中はモードスイッチを AUTO に切り換えないでください。映像の明るさが一時的に大きく変化することがあります。

撮影場面や目的に合わせて撮る

電源：カメラ　記録先：テープ／カード

撮影シーンに合わせて、撮影モードを選びます。

AUTO オート

すべての調整をカメラまかせで、簡単に撮影します。

P応用撮影（📖 42）

P プログラムAE

シャッタースピードとしぼりを自動で設定します。

Tv シャッター優先AE

シャッタースピードを手動で調整します。

Av 絞り優先AE

しぼりを手動で調整します。

シネマモード（📖 40）

映画のような画質になります。

＊ 静止画では選べません

SCN 簡単撮影

場面に合わせてきれいに撮影します（📖 44）。

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

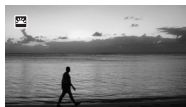
ビーチ

海岸で照り返しが強くても被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮る。

スポーツ

動きの速い被写体を撮る。

夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。

ナイト

暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト

スポットライトで照明されたシーンをきれいに撮る。

スノー

スキー場で照り返しが強くても被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮る。

打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。

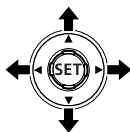
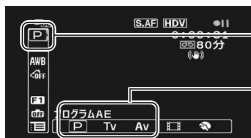
- AUTO のときは、誤操作を防ぐために、ジョイスティックが作動しなくなります（カードカメラモードのフラッシュの設定は除く）。
- 撮影中は、撮影モードを変えないでください。映像の明るさが一時的に大きく変化することがあります。

撮影場面や目的に合わせて撮る

■ シャッターやしぼりを調整する

電源 カメラ　記録先　モード P

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れの流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレート、大きい（閉じる）と風景を全体的にはっきりと、撮影できます。

1 押す

2 設定する内容を選ぶ（□ 41）

P（プログラムAE）	シャッタースピードとしぼりを自動で設定。
Tv（シャッター優先AE）	シャッタースピードを調整する。しぼりは自動で設定。
Av（絞り優先AE）	しぼりを調整する。シャッタースピードは自動で設定。

3 押す

Tv または Av を選んだ場合は次の操作をする

Tv シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

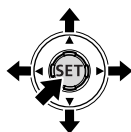
カメラ/テープ	カメラ/カード	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	–	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

- AEは、Auto Exposure（オート エクスポージャー）（自動露出）、Tvは、Time value（タイム バリュー）（時間量）、Avは、Aperture value（アパチャー バリュー）（開口量）の略です。
- 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、シャッタースピードやしぼりを調整してください。
- Tv のとき
  - 暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
  - 高速シャッターでは、画像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
  - 蛍光灯下で動画を撮影するとき、画面のちらつきがとれない場合は、Tv を選んでから1/100秒を選んでください。
- Av のとき
  - 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。
  - しぼり数値は次のとおりです。
    テープ撮影時：1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0
    カード記録時：2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0
- HDV（PF24）（📖 75）のとき
  シャッタースピードは次のとおりです。
  1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒

つづく

撮影場面や目的に合わせて撮る

■ シーンや目的を選んで簡単に撮る 電源 カメラ モード P

映画のような雰囲気の映像を残したい、また、照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕焼け、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせて簡単に撮影したいときに使います。

1 押す

2 場面や目的に合ったモードを選ぶ(41)

3 押す

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチのときは、再生すると、なめらかに見えないことがあります。
- ポートレート
  - ズームをT側にすると、背景がより効果的にぼけます。
- ナイト
  - 動きのある被写体は、尾を引いたような残像が見えることがあります。
  - 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
  - 画面に白い点などが出ることがあります。
  - 自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。
- スノー、ビーチ
  - 曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。
- 打上げ花火
  - 手ぶれを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。特に、静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、必ず三脚をお使いください。

明るさを調整する

電源	記録先	モード
カメラ		P

■ 逆光下で撮る

窓際や水辺の人物を撮るときなど、逆光下での撮影では、一般的に、被写体が暗くなります。このようなとき、ボタンを押すだけで明るさを補正して、被写体を明るく撮影できます。

逆光補正

1 押す

- （逆光補正）が表示される。
- もう一度押すと消える。

■ 手動で明るさを調整する

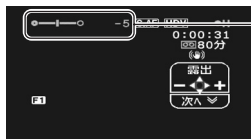
逆光のとき被写体が暗くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。

1 SETを押す

2 下に押して「露出」のページを選ぶ

操作案内を上に押す
→バーと±0が出る

- 画面の明るさが固定される
- ズームを動かすと、明るさが変わることもある

3 左右に押す

明るさによって長さが変わり、調整範囲も変わる

- 上に押し、バーが消えると自動での露出調整に戻る。

4 SETを押す

撮影モードをSCNの「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

手動でピントを合わせる

電源 カメラ　記録先

自動でピントが合いにくい場合は、ピントの調整をします（マニュアルフォーカス）。自動でピントが合いにくい被写体は、次のとおりです。

・強い光が反射している
・明暗の差や縦の線がない
・動きが速い
・水滴の付いたガラス越し
・夜景

ズーム操作は、ピントを合わせる前に行ってください。

1 被写体の大きさを決める

フォーカス

2 押す

「MF」が出る。

3 上下に回す

- ピントを合わせる。
- フォーカスボタンをもう一度押すと、自動のピント合わせに戻る。

■ 花火や山など遠くにピントを合わせる

フォーカス

1 AF（S.AF（ハイスピードAF）または AF（ノーマルAF））のとき、2秒以上押し続ける

- ズームレバーで大きさを調整した後、押す。
- 画面に「∞」が出る。
- もう一度押すと、自動ピント合わせに戻る。
- フォーカスダイヤルを上下に回したり、ズームレバーを押すと手動でのピント合わせ（MF）になる。
- ノーマルAFのとき、AF は画面に出ない。

手動でピントを合わせる

■ 拡大表示/輪郭強調をする（フォーカスアシスト）

被写体の中央を拡大表示し、また全体的に輪郭を強調（ピーキング）します。拡大表示することで、ピントを合わせる部分を確認し、輪郭を強調することで、ピントが合っている部分を際立たせてピント調整の手助けになります。

1 押す

- 「MF」が出る。

2 押す

- 拡大表示/輪郭が強調される。

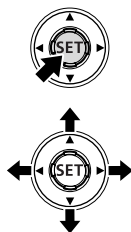
3 上下させる

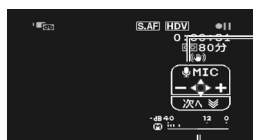
- ピントを合わせる。

- 拡大表示やピーキングは、テープやカードに記録する画像に影響しません。撮影を開始すると解除されます。
- メニューの「撮影アシスト」を「ピーキング」に設定しても被写体の輪郭を強調することができます（📖 81）。この場合は、撮影を開始してもピーキングは解除されません。
- カード記録時は、フォトボタンを浅く押しながらフォーカスアシストボタンを押しても、操作できます。
- モードスイッチを AUTO にすると、自動のピント合わせになります。

録音レベルを調整する

内蔵マイクや外部マイクの音量を調整して、録音できます。また、再生中に録音レベルを表示して確認できます。

■ 録音レベルを手動で調整する

1 SETを押す

2 下に押して「MIC（録音レベル）」のページを選ぶ

- 上に押すたびに、A（オート）/M（マニュアル）が切り換わる
- M（マニュアル）を選び、左右に押して、レベルを調整する

- 緑色のバーは、右に行くほどマイクレベルが上がり、左に行くほどマイクレベルが下がる。
- レベルメーターが、12より右の位置で時々点灯するように調整する。
- レベルメーターの0で赤く点灯するときは、音が歪むことがある。

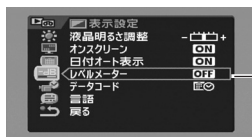
3 SETを押す

■ 録音レベルを表示する

1 押す

2 上下に押してメニューを選び、SETを押す

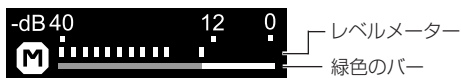
つづく

録音レベルを調整する

3 レベルメーターを選ぶ

❶上下に押して「表示設定」を選び**SET**を押す→上下に押して「レベルメーター」を選ぶ→**SET**を押す

❷上下に押して「入」を選ぶ→**SET**を押す

4 押す

レベルメーターについて

録音レベルは、Ⓜモードで緑色のバーが出ているときに調整できます。調整が終わったら、録音レベルが不用意に変わらないように緑色のバーを消しておく（操作案内を消しておく）ことをおすすめします。

- モードスイッチがAUTOのとき、録音レベルは自動調整になります。
- 録音レベルを調整したり、「マイクATT」機能を使うときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします（📖 34）。
- レベルメーターが適切に点灯しているのに音声が歪むとき
  モードスイッチを**P**にし、メニューで「マイクATT」を「入」にしてください（📖 75）。

＊ ATTはAttenuator（アッテネーター）の略で、信号を小さくする減衰器のことです。

データコード
撮影情報の表示のしかたを選ぶ

撮影情報の表示のしかたを切り換えられます。画面に表示される日時やカメラデータ(シャッタースピードやしぼり値)を「データコード」といいます。

1 押す

● 押すたびに表示が切り換わる。

テープ撮影中	画面表示あり→撮影状況(●:撮影、●II:撮影一時停止など)、テープ残量(5分未満になると出る)の表示
テープ再生中	画面表示とデータコード(日時、シャッタースピード、しぼり値)→画面表示のみ→再生状況、再生時間などの表示(停止中:■、一時停止中:▶II)→画面表示なし
カード撮影中	画面表示あり→画面表示なし
カード再生中	画面表示あり→記録枚数、日時、画質などの表示→画面表示なし

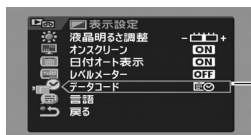
■ データコードの表示のしかたを選ぶ

電源 再生 記録先

テープ再生のとき、データコードの表示のしかたを切り換えられます。

1 押す

2 上下に押してメニューを選び、SETを押す

3 データコードを選ぶ

❶上下に押して「表示設定」を選びSETを押す→「データコード」を選びSETを押す

❷上下に押して設定する内容を選ぶ→SETを押す(📖80)。

ステップアップ・撮る

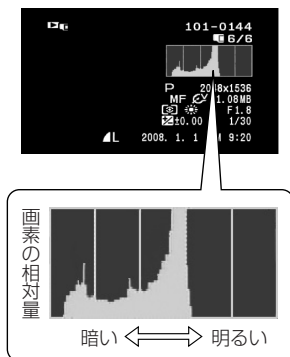
つづく

撮影情報の表示のしかたを選ぶ

4 押す

■ 静止画の明るさを図で確認する（ヒストグラム） 電源 再生 記録先

撮影した静止画の明るさを確認できます。撮影するときの明るさの目安にします。この明るさの図を「ヒストグラム」といいます。画素の相対量が図の右側に多いと明るく、左側に多いと暗いことを表しています。

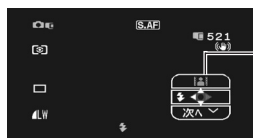
1 押す

ヒストグラムは静止画記録時、メニューで設定した静止画確認時間中にも、表示されます。

フラッシュやミニビデオライトを使う

フラッシュやミニビデオライトを使うと、暗いところで画像をきれいに撮影できます。また、暗いところで人物を撮影したときに目が赤く写る現象を軽減することもできます。

■ フラッシュを使う

1 SETを押す

2 下に押して「（フラッシュ）」のページを選ぶ

- 左に押すたびに表示が変わる
- A は約4秒後に消える

3 SETを押す

オート	被写体の明るさによって、自動で光る。
赤目緩和オート	赤目緩和用にミニビデオライトが点灯し、フラッシュが自動で光る。
強制発光	被写体の明るさに関係なく光る。
発光禁止	光らない。

4 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。

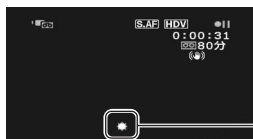
■ 別売のビデオフラッシュライトVFL-1を使う

本機では、内蔵フラッシュよりも強い光を発光するビデオフラッシュライトを、アドバンストアクセサリーシューに取り付けて使用できます。フラッシュの設定のしかたは、内蔵フラッシュと同じです。取り付けかたや使いかたについては、ビデオフラッシュライトの説明書もあわせてご覧ください。また、ビデオフラッシュライトはビデオライトとしても使用できます。
ビデオフラッシュライトを取り付けると、画面に が出ます。

フラッシュやミニビデオライトを使う

- 内蔵フラッシュで撮影できる距離は、約1～2mです。撮影条件により、距離は変わります。
- ビデオフラッシュライトで撮影できる距離は約1～4mです。撮影条件により、距離は変わります。
- 連写のときはフラッシュの光量が減るため、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。
- 「◎」では、写される人が赤目緩和用のミニビデオライトを見る必要があります。赤目緩和効果の度合は、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。
- 次の場合、フラッシュは発光しません。
  - 「⚡A」と「◎」の場合、操作案内で露出を固定したとき（📖 46）。
  - ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
  - 撮影モードを**SCN**の「打上げ花火」に設定しているとき。
- 操作案内で露出を固定したときは（📖 46）、フラッシュの設定を変更できません。
- 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターをお使いのとき、フラッシュを使うことをおすすめしません。ワイドコンバーターやテレコンバーターの影が映ります。
- **AF補助光について**
  - フォトボタンを浅く押したとき、被写体の明るさによって、ピントを合わせやすくするためにミニビデオライトが点灯することがあります。点灯しないようにすることもできます（📖 73）。
  - 点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。
- レストランや劇場などの公共の場所では、周囲への配慮を心がけてお使いください。

■ ミニビデオライトを使う　電源 カメラ　記録先 📼 🗂　モード P, AUTO

1 押す

- もう一度押すと、消灯する。

別売のビデオライトVL-3を使う

本機では、内蔵ミニビデオライトよりも強い光を発光するビデオライトを使用できます。取り付けかたや使いかたについては、ビデオライトの説明書もあわせてご覧ください。

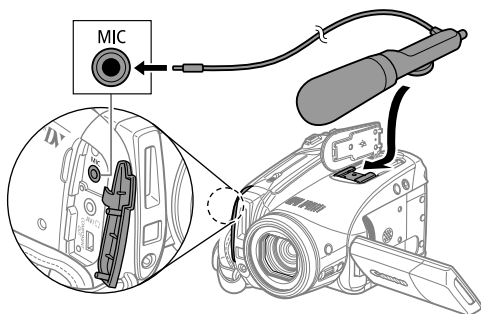
別売のビデオライトを使用すると、本機のミニビデオライトは自動的に使用できなくなります。本機のミニビデオライトを使用する場合は、別売のビデオライトのスイッチをOFFにしてから、本機のライトボタンを押してください。

外部マイクを使う

電源	記録先	モード
カメラ	(テープ)	P, AUTO

本機のアドバンストアクセサリーシューに、別売の指向性ステレオマイクロホンDM-50や市販のアクセサリーシュー対応のマイクを取り付けられます。指向性ステレオマイクロホンDM-50を取り付けると、画面に “S” が出ます。
取り付けかたや使いかたについては、マイクの説明書もあわせてご覧ください。

マイクの取り付けかた

①アドバンストアクセサリーシューのカバーをあける
②マイクをアクセサリーシューに取り付ける
③市販のマイクの場合は、MIC端子に接続する*
* 指向性ステレオマイクロホンDM-50を接続する場合、③の操作は必要ありません。

- 静かな場所で撮影するときは
  内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合には、外部マイクをお使いになることをおすすめします。
- 市販のマイクを使うときは
  - 電源内蔵タイプのコンデンサーマイクをご使用ください。端子がφ3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどのマイクを接続することが可能ですが、マイクにより音量レベルは内蔵マイクと異なります。
  - 長いマイクを使うと、マイクが画面に映ることがあります。
- 指向性ステレオマイクロホンDM-50をビデオカメラに取り付けてファインダーで撮影する場合、マイクに触れて雑音が入るなど、本来の性能が発揮できない場合があります。そのような場合には液晶画面で撮影するなど、マイクから離れて使用してください。

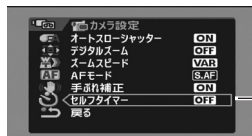
セルフタイマーを使う

記録先

自分を入れて撮影するときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

1 押す

2 上下に押してメニューを選び、**SET**を押す

3 セルフタイマーを選ぶ

❶上下に押して「カメラ設定」を選び**SET**を押す→上下に押して「セルフタイマー」を選び、**SET**を押す

❷上下に押して「入」を選ぶ→**SET**を押す

- テープに撮影しているときは、撮影一時停止中に操作。
- 画面に⏲が出る。

4 押す

つづく

セルフタイマーを使う

5 動画の場合 押す

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる(リモコンの場合は2秒)。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる(リモコンの場合は2秒)。

解除するとき

撮影開始までの時間が出ているときに、スタート/ストップボタン（動画のとき）、フォトボタン（静止画のとき）を押す。

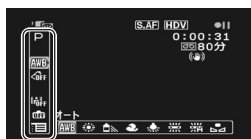
撮影開始までの時間が出ているときは、電源を切っても解除されます。

FUNC. 操作のしかた

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をFUNC.（ファンクション）メニューから変更できます。メニュー項目は、FUNC.設定機能一覧（📖 60）をご覧ください。

例 「ホワイトバランス」を「太陽光」に設定する

1 押す

2 上下に押して機能を選ぶ

3 左右に押して設定内容を選ぶ

設定した内容のマークが出る

- ホワイトバランスの「セット（📖 63）」、画質効果の「カスタム（📖 65）」、デジタルエフェクト（📖 67）、画質や画像サイズ（📖 69）を設定する場合は、各説明ページをご覧ください。

4 押す

- FUNC. メニューが消える。

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。
- FUNC.ボタンを押すと、FUNC. メニューはいつでも終了します。

FUNC. 設定機能一覧

設定できる機能は、電源スイッチやテープ／カード切り換えスイッチの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。

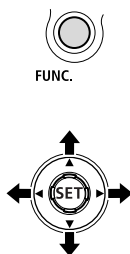
機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		テープ	カード	テープ	カード	
撮影モード	P **プログラムAE**、Tv シャッター優先AE、Av 絞り優先AE	○	○			41
	シネマモード	○				41
	SCN（**ポートレート**、スポーツ、ナイト、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライト、打上げ花火）	○	○			41
測光方式	**評価測光**、中央部重点平均測光、スポット測光		○			62
ホワイトバランス	AWB **オート**、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、セット	○	○			63
画質効果	**画質効果切**、くっきりカラー、すっきりカラー、ソフト、美肌、カスタム	○	○			65
ドライブモード	**単写**、連写、高速連写、AEB		○			66
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、F1 オートフェード、F2 ワイプ、E1 シロクロ、E2 セピア、E3 アート	○		○		67
	D.エフェクト切、E1 シロクロ、E2 セピア		○			67
静止画記録	HDV/DV（ワイド）撮影時：OFF **静止画記録切**、LW 1920×1080、SW 848×480 DV（ノーマル）撮影時：OFF **静止画記録切**、M 1440×1080、S 640×480	○				71
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル	○				71
静止画サイズ／画質	LW 1920×1080、L **2048×1536**、M 1440×1080、S 640×480		○			69
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		○			69

機能	設定内容	カメラ		再生		
静止画画質	HDV再生時： LW スーパーファイン/1920×1080、 **LW ファイン/1920×1080**、 LW ノーマル/1920×1080 DV（ワイド）再生時： SW スーパーファイン/848×480、 **SW ファイン/848×480**、 SW ノーマル/848×480 DV（ノーマル）再生時： S スーパーファイン/640×480、 **S ファイン/640×480**、 S ノーマル/640×480			○		83
スライドショー	キャンセル、スタート				○	38
録画一時停止	キャンセル、実行			○		96
エンドサーチ	キャンセル、実行			○		33
画像プロテクト	画像プロテクト設定画面（プロテクト切／入）				○	87
印刷指定	印刷指定画面（0〜99枚）へ				○	115
送信指定	送信指定画面（送信指定切／入）へ				○	106
メニュー	―	○	○	○	○	73

測光

明るさの調整のしかたを選ぶ

電源 カメラ | 記録先 | モード P

通常、カメラは被写体に当たる光を自動的に測って、撮影する明るさを決めます。被写体に応じて、光の測定方法を選択できます。

1 押す

2 目的の測光のしかたを選ぶ

❶上下に押して を選ぶ。

❷左右に押していずれかを選ぶ。

評価測光	ふだんの撮影のときに適している。画面内を分割して測光する。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、被写体を常に適正な明るさにする。
中央部重点平均測光	画面全体の明るさのバランスをとりながら、中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光する。
スポット測光	画面中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の枠（[　]）内を測光する。

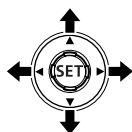
3 押す

撮影モードをSCNに設定しているときは、使用できません。

ホワイトバランス

色合いを調整する

電源	記録先	モード
カメラ		P

太陽光や蛍光灯など、当たる光によって白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に関係なく「白いものは白く」写すように色を調整できます。

1 押す

2 目的のホワイトバランスを選ぶ

❶上下に押してAWBを選ぶ。

❷左右に押していずれかを選ぶ。

AWB オート	通常はAWB（オート）を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
日陰	日陰で撮影するときに選択。
くもり	曇天時に撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
セット	上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白を取り込んで白いものを白く写すように調整するとき。

つづく

色合いを調整する

(セット) を選んだときは、次の操作をする

1 白紙、白布を写す。

T側にして、画面いっぱいに写す。

2 **SETを押す。**

が点滅→点灯に変わったら調整完了。調整内容は電源を切っても憶えている。

FUNC.

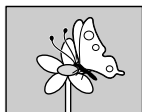
3 押す

- (セット)を選んで調整するとき
  - 明るさが十分な場所で操作してください。
  - メニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください（📖 73）。
  - 光が変わったときは再調整してください。
  - 光によっては、ごくまれに が点滅→点灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。
  - 撮影モードをSCNに設定しているときは、使用できません。
- AWB (オート)にも苦手なものがあります。つぎのような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば、 (セット)で調整をしてください。
  - 照明条件が急に変わる場所での撮影
  - クローズアップ撮影
  - 空・海・森など単一色しか持たない被写体の撮影
  - 水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影

- 蛍光灯の種類によっては、 (蛍光灯)や (蛍光灯H)を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、 AWB (オート)または (セット)を選んでください。

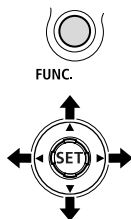
画質効果

好みの画質にする

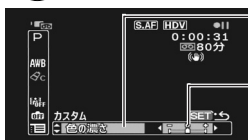
電源	記録先	モード
カメラ		P

静止画の画質を柔らかく仕上げたり、肌をキレイに見せたり、好みに応じて変えられます。

1 押す

2 目的の画質効果を選ぶ

❶上下に押して を選ぶ。
❷左右に押していずれかを選ぶ。

画質効果切	画質効果を使わないとき。
くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。
すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。
ソフト	輪郭の強調を抑える。
美肌	肌をなめらかに表現して、きれいに見せる。
カスタム	色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを自由に設定。 色の濃さ：(－)薄い、(＋)濃い シャープネス(輪郭強調)：(－)弱い、(＋)強い コントラスト(明暗差)：(－)弱い、(＋)強い 明るさ：(－)暗い、(＋)明るい

(カスタム)を選んだ場合は、SETを押してから次の操作をする

目的のカスタム機能を調整する。

❶上下に押してカスタム機能の内容を選ぶ
❷左右に押してカスタム機能を調整する。

3 押す

撮影モードをSCNに設定しているときは、使用できません。

ドライブモード

連写する

電源	記録先	モード
カメラ		P

運動会で走る子供を連続して静止画で記録したり、子供の表情を自動的に3段階の明るさにして撮ったりできます。

1 押す

2 目的のドライブモードを選ぶ

❶上下に押して □（ドライブモード）を選ぶ

❷左右に押していずれかを選ぶ

3 押す

□	単写	1枚の静止画を撮影。
	連写	連続撮影。
	高速連写	高速の連続撮影。
	AEB	標準、暗め、明るめの順で3枚の静止画を連続撮影。撮影後、最適な明るさを簡単に選べる。

4 浅く押す

● ピントを合わせる。

5 連写／高速連写の場合 深く押し続ける

AEBの場合 深く押す

● 撮影モードをSCNの「打上げ花火」に設定しているときは操作できません。
● AEBは、Auto Exposure Bracketing（オートエクスポージャーブラケッティング）の略。
● 1回の連写で記録できる最大枚数の目安

1秒あたりの記録枚数			連続記録可能枚数
連写	高速連写	フラッシュ使用時	
約3枚	約5枚	約2.1枚	60枚

*枚数は撮影条件や被写体によって変わります。 が出ているときは、1秒あたりの連写枚数が少なくなります。

デジタルエフェクト

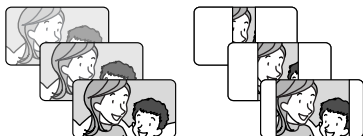
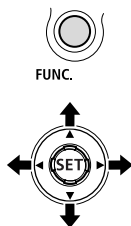
場面の切り換えと特殊効果

電源 カメラ・再生　　

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出の画像にひと工夫加えてみましょう。静止画を撮る場合はエフェクトの「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。静止画再生中は使用できません。

フェーダー：
映画のようにシーンの始まりと終わりを演出。動画のときのみ使用できる。

エフェクト：
色を変えたり、特殊効果を加える。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できる。

F1 オートフェード　F2 ワイプ

1 押す

2 目的のデジタルエフェクトを選ぶ

❶ 上下に押して を選ぶ。
❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

4 SETを押す

つづく

場面の切り換えと特殊効果

5 下に押して「(D.エフェクト)」のページを選ぶ

6 デジタルエフェクトを「入」にする

デジタルエフェクトを解除するとき

もう一度上に押す。

7

テープ撮影時 押す

テープ再生時 押す

- 撮影／再生一時停止中にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影／再生中に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影／再生一時停止になる。

カード記録時 浅く押し続け、深く押す

- 静止画が白黒、またはセピアで記録される。

- デジタルエフェクトを使用しないときは、「D.エフェクト切」に設定します。
- 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても憶えています。

画質や画像サイズを選ぶ

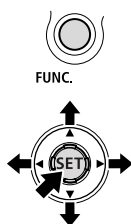
電源	記録先
カメラ	(カード)

画質や画像サイズ、撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。画像サイズは、高画質で撮るときは大きく、枚数を多く撮るときは小さく設定してください。

カードに記録できる枚数の目安

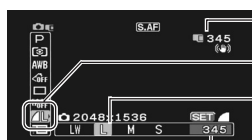
画像サイズ	LW 1920×1080			L 2048×1536			M 1440×1080			S 640×480			SW 848×480*		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
32MB	20	30	60	10	20	40	25	40	80	140	205	375	105	155	310
128MB	90	135	265	60	85	180	120	180	350	600	865	1560	455	650	1300
512MB	350	525	1040	235	350	700	470	700	1370	2320	3355	6040	1775	2515	5030

S：スーパーファイン、 ◢：ファイン、 ▟：ノーマル

* SWはテープ／カード同時記録（📖 71）のとき、または、録画規格がDV（ワイド）のテープの映像をカードに記録する（あとからフォト（📖 83））ときに選べます。

1 押す

2 画像サイズを選ぶ

記録できる枚数の目安

❶上下に押して◢Lを選ぶ。

❷左右に押していずれかを選ぶ→SETを押す。

記録できる枚数の目安

3 画質を選ぶ

左右に押していずれかを選ぶ。

4 押す

つづく▶

画質や画像サイズを選ぶ

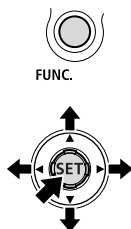
- 静止画の枚数が多いと、パソコンに静止画を取り込めないことがあります（Windows：1800枚以上、Macintosh：1000枚以上）。その場合は、カードリーダーをお使いください。
- 1800枚以上の静止画があるときは、PictBridge対応プリンターに接続できません。快適に操作するために、100枚以下にしてください。
- 画像サイズとそれに適する用途は次のとおりです。

L	2048×1536	：A4サイズまでを印刷するとき
M	1440×1080	：Lサイズまたはポストカードサイズで印刷するとき
S	640×480	：電子メールで転送するときやWeb用、またはより多くの画像を撮影するとき

テープ/カード同時記録

テープ撮影中にカードに記録する

電源 カメラ　記録先 　モード P, AUTO

カメラモードのまま、カードに静止画を記録できます。また、テープに撮影中に同時に静止画を記録したり、撮影一時停止中にも記録できます。
カードに記録される静止画の画質とサイズは選べます（□ 69）。

1 押す

2 静止画サイズを選ぶ

上下に押して OFF を選ぶ。

左右に押していずれかを選ぶ→SETを押す。

3 静止画の画質を選ぶ

左右に押していずれかを選ぶ。

4 押す

5 深く押す

- 静止画がカードに記録される。

- デジタルエフェクト実行中やデジタルズーム使用中は、カードに記録できません。
- 高画質での記録は、「カード静止画記録モード」をおすすめします。

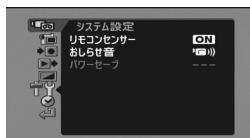
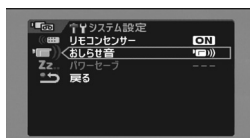
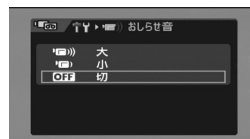
メニューの操作のしかた

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。
メニュー項目は、メニューの設定項目一覧（📖 73）をご覧ください。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

1 押す

2 上下に押してメニューを選び、**SET**を押す

3 上下に押して設定する項目を選び、**SET**を押す

4 上下に押して機能を選び、**SET**を押す

5 上下に押して設定内容を選び、**SET**を押す

6 押す

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。
- FUNC.ボタンを1秒以上押しても、メニュー画面が表示されます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

メニューの設定項目一覧

設定できる機能は、電源スイッチやテープ／カード切り換えスイッチの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。📖 欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

カメラ設定

機能	設定内容	カメラ		📖
		テープ	カード	
オートスローシャッター	ON **入**、OFF 切	○	○	－
デジタルズーム	OFF **切**、40x 40×、200x 200×	○		－
ズームスピード	VAR **可変速**、≫≫ スピード3 ≫ スピード2、> スピード1	○	○	－
AFモード	S.AF **ハイスピードAF**、AF ノーマルAF	○	○	－
AF補助光	A **オート**、OFF 切		○	54
フォーカス優先	AiAF 入：**AiAF**、[・] 入：中央固定、OFF 切		○	－
手ぶれ補正	ON **入**、OFF 切	○	○	－
セルフタイマー	ON 入、OFF **切**	○	○	57

オートスローシャッター　暗めの室内など明るさが不足する場所で明るく撮影します。

- 撮影モード切り換えスイッチが AUTO または **P**（P プログラムAEのみ）のとき、切り換えられます。
- 1/30秒（録画規格がHDV（PF24）選択時は1/12秒、HDV（PF30）選択時は1/15秒、静止画記録モード時は1/15秒）までのスローシャッターになります。
- 静止画記録時は、フラッシュを「発光禁止」のときに使用できます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に（手ぶれ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

つづく ▶

デジタルズーム　デジタルズームの設定を選びます。
- デジタルズームを設定したときは、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では画像をデジタル処理するため、拡大するほど画像が粗くなります。
- ズーム表示は、10倍から40倍までは水色、40倍から200倍までは青色になります。
- 撮影モードをSCNの「ナイト」に設定しているときは、使用できません。
- デジタルズーム使用中はカードに同時記録できません。

ズームスピード　ズームスピードを選びます（📖 30）。
- ズームスピードは、ズームレバーの押しかたで変わる可変速と、一定のスピード（1～3）から選べます。可変速を選ぶと、ズームレバーを少し押すと低速ズームに、さらに押すと高速ズームになります。
- スピード3がもっとも速く、スピード2、スピード1の順に遅くなります。

AFモード　ピントが合う速さを選びます。
- 「ハイスピードAF」：遠くと近くの被写体に順にピントを合わせるときや、子供を追いかけるときなど被写体が速く動くときに、素早くピントを合わせます。
- 「ノーマルAF」：別売のワイドコンバーターやテレコンバーターをお使いのときは、S.AFセンサーを隠してしまうため、「ノーマルAF」にしてください。

フォーカス優先　フォトボタンを押したときに、ピントが合ってから静止画を記録します。
- ピントの合わせ方を、AiAFと中央固定から選べます。
- AiAFを選ぶと、9つの枠の中からピントの合う枠を自動で選びます。
- 中央固定を選ぶと、画面の中央にピントを合わせるための枠が出ます。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。
- 撮影モードをSCNの「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。
- 撮影モードを AUTO に設定しているときは、自動的に「AiAF」になります。
- フォトボタンを押してすぐに静止画を記録したいときは、「切」を選びます。

手ぶれ補正　ズームの望遠側で撮影するときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。
- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 暗いところで、撮影モードをSCNの「ナイト」にして撮影すると、手ぶれ補正が効きにくくなります。
- モードスイッチが AUTO のときは、自動的に「入」になります。
- 三脚などを使って撮影するときは、手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

記録／入力設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		∞	▭	∞	▭	
録画規格	HDV HDV、HDV24 HDV（PF24）、HDV30 HDV（PF30）、DV DV（ワイド）、DV DV（ノーマル）	○				–
DV録画モード	SP 標準モード、LP 長時間モード	○*		○		–
DVオーディオモード	16bit 16bit、12bit 12bit	○*		○		–
ウィンドカット	A オート、OFF 切	○				–
マイクATT	ON 入、OFF 切	○				50
静止画確認時間	OFF 切、2sec 2秒、4sec 4秒、6sec 秒、8sec 8秒、10sec 10秒		○			–
AV→DV	ON 入、OFF 切			○		100
画像番号	オートリセット、通し番号	○	○	○		–

* DV規格で撮影しているとき。

録画規格　撮影するときの画質（規格）と画面の比率を選びます。

- 「HDV」：1080iハイビジョン画質（HDV規格）で撮影します。
- 「HDV（PF24）」：1080iハイビジョン画質（HDV規格）の24コマ/秒の方式で撮影します。P 応用撮影のシネマモード（📖 40）と組み合わせると、より映画の雰囲気に近い映像（シネマエフェクト）になります。
  再生のときは、HDV24 ではなく HDV が表示されます。
- 「HDV（PF30）」：1080iハイビジョン画質（HDV規格）の30コマ/秒の方式で撮影します。インターネットに映像を掲載するときなどに便利です。
  再生のときは、HDV30 ではなく HDV が表示されます。
- 「DV（ワイド）」：標準画質（DV規格）の16：9のワイド画面で撮影します。
- 「DV（ノーマル）」：標準画質（DV規格）の4：3のノーマル画面で撮影します。
- 一本のテープには一つの録画規格で撮影することをおすすめします。
- ワイド画面で撮影した動画を再生するとき、ビデオID-1方式対応のテレビにつなぐと、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側でワイド画面に切り換えてください。接続するテレビが通常のテレビ（4：3）の場合は、メニューで「テレビタイプ」を設定してください（📖 77）。

つづく

DV録画モード　メニューで「録画規格」を「DV（ワイド）」または「DV（ノーマル）」にしているときに、1本のテープに録画できる時間を変えます。

- 長時間モードの録画時間は、標準モードの1.5倍です。
- 長時間モードでは、テープの特性や撮影条件に影響されやすく、再生時画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。
  大切な撮影には標準モードをお使いください。
- テープの途中で録画モードを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、撮影した時間が正しく更新されないことがあります。
- 本機で長時間モードで録画したテープを他機で再生したり、他機で長時間モードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。

DVオーディオモード　音声記録モードを切り換えます。

- 「16bit」では、ステレオ音声が高音質で記録できます。
- 撮影後、他機でアフレコする場合は、「12bit」で撮影してください。

ウィンドカット　風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動で低減できます。

- モードスイッチを AUTO 以外にして、設定を変更してください。
- 低い音の一部も風の音と一緒に低減されますので、風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、「切」にすることをおすすめします。

静止画確認時間　静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を変えます。

- 静止画確認時間中にジョイスティックを下に押すことで、画像消去（📖 85）ができます。静止画確認時間を「切」に設定したときは記録直後に操作します。
- ドライブモードで「連写」、「高速連写」、「AEB」を選んでいると、静止画確認時間は設定できません。
- 静止画確認時間中にディスプレイボタンを押すと、静止画が表示され続けます。フォトボタンを浅く押すと、撮影状態に戻ります。

画像番号　記録する静止画の画像番号の付けかたを選びます。

- 記録した静止画は、自動的に0101〜9900までの画像番号が付き、1つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101〜998までの番号が付きます。
- 「オートリセット」：画像番号は、101-0101から始まります。すでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になります。
- 「通し番号」：画像番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まります。カードの画像番号の方が大きいときは、その続き番号になります。パソコンで管理するときなどに便利です。
- 通常は、「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

カード実行

機能	設定内容	再生		📖
印刷指定全消去	いいえ、はい		○	117
送信指定全消去	いいえ、はい		○	107
画像全消去	いいえ、はい		○	86
初期化	キャンセル、初期化、完全初期化		○	88

再生／出力設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
再生規格	A **オート**、HDV HDV、DV DV			○		－
テレビタイプ*[1]	4:3 ノーマルテレビ、16:9 **ワイドテレビ**			○		－
バイリンガル	**メイン＋サブ**、メイン、サブ			○		－
音声出力	**ST-1 ステレオ1**、ST-2ステレオ2、1:1 ミックス/1:1、ミックス/バリアブル			○		－
ミックスバランス	ST-1 ― ST-2			○		－
AV／ヘッドホン	AV **AV**、ヘッドホン	○		○		34
コンポーネント端子*[1]	480i 480i、1080i **1080i/480i**	○	○	○	○	－
DV端子	DV DV固定、HDV/DV **HDV/DV**			○		－
ヘッドホン音量*[2]	－＋、OFF	○				34

*[1] HDMIケーブルで他の機器に接続されている場合は、設定できません。
*[2] テープを再生しているときは、操作案内でヘッドホンの音量を調整できます（📖 35）。

- テープ再生のとき、再生／出力設定は、1と2にわかれます。
- 再生/出力設定画面では、「HDMI OUT」が表示されます。HDMIケーブルで他の機器と接続しているときは、出力する信号の規格も表示されます。HDMIについては、P.92をご覧ください。

メニューの設定項目一覧

再生規格　再生するときの規格を選びます。
- 「オート」：自動的にHDV/DV規格の信号を切り換えて再生します。
- 「HDV」：HDV規格で記録された部分だけを再生します。
- 「DV」：DV規格で記録された部分だけを再生します。

テレビタイプ　接続するテレビに合わせて選びます。本機とテレビをつないで映像を見る場合、縦・横の比率を正しい比率にして再生します。
- 「ノーマルテレビ」：接続したときワイド画面に自動的に切り換わらないノーマルテレビに接続するときに選びます。
- 「ワイドテレビ」：ワイドテレビに接続するときに選びます。

バイリンガル　他機で二重音声で記録したテープを本機で再生するときの音声を選びます。
メイン（主音声）/サブ（副音声）から選びます。

音声出力、ミックスバランス　テープに他機で追加した音（アフレコ）を再生します。
- 「ステレオ1」：撮影時の音声のみ再生します。
- 「ステレオ2」：アフレコした音声のみ再生します。
- 「ミックス/1:1」：ステレオ1とステレオ2を同じバランスで再生します。
- 「ミックス/バリアブル」：ステレオ1とステレオ2の音声のバランスを調整して再生します。
- 「ミックス/バリアブル」を選んだ場合は、メニューで「ミックスバランス」を選び、ジョイスティックで調整します。撮影時の音声を大きく再生したいときはST1側に、他機でアフレコした音声を大きく再生したいときはST2側にします。
- 電源を切ると一度調整した音声のバランスは憶えていますが、音声出力は「ステレオ1」に戻ります。

コンポーネント端子　D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

- 「480i」：D1端子（480i）対応のテレビにつなぐとき。
- 「1080i/480i」：D3/D4/D5端子（1080i）対応のテレビにつなぐとき。
- 他機で再生したい信号によって、メニューで「再生規格」と「コンポーネント端子」を次のように設定してください。

再生したい信号	テープに撮影した映像の規格	メニューの「再生規格」	メニューの「コンポーネント端子」
ハイビジョン画質（HD）	HDV	「オート」/「HDV」	「1080i/480i」
標準画質（SD）	HDV	「オート」/「HDV」	「480i」
	DV	「オート」/「DV」	「1080i/480i」/「480i」

* HDV規格で撮影してメニューで「再生規格」を「DV」に設定しているときや、DV規格で撮影して「HDV」に設定しているときは何も再生されません。

DV端子　撮影したテープを他機につないで再生するときに、HDV/DV端子から出力する信号を選びます。

- 「DV固定」：HDV/DV端子からDV規格の信号のみを出力します。
- 「HDV/DV」：HDV/DV端子からHDV規格とDV規格の信号を出力します。
- DVケーブルをつないでいるときは、メニューで「DV端子」の設定はできません。
- 他機で再生したい信号によって、メニューで「再生規格」と「DV端子」を次のように設定してください。

再生したい信号	テープに撮影した映像の規格	メニューの「再生規格」	メニューの「DV端子」
ハイビジョン画質（HD）	HDV	「オート」/「HDV」	「HDV/DV」
標準画質（SD）	HDV	「オート」/「HDV」	「DV固定」
	DV	「オート」/「DV」	「DV固定」/「HDV/DV」

* HDV規格で撮影してメニューで「再生規格」を「DV」に設定しているときや、DV規格で撮影して「HDV」に設定しているときは何も再生されません。

つづく

メニューの設定項目一覧

表示設定

機能	設定内容	カメラ テープ	カメラ カード	再生 テープ	再生 カード	参照ページ
液晶明るさ調整	−〜+	○	○	○	○	−
マーカー	OFF **切**、水平(白)、水平(グレー)、グリッド(白)、グリッド(グレー)	○	○			−
撮影アシスト	OFF **切**、ゼブラ(70%)、ゼブラ(100%)、PEAK ピーキング	○	○			−
オンスクリーン	ON **入***、OFF 切	○	○	○	○	−
日付オート表示	ON 入、OFF **切**			○		−
レベルメーター	ON 入、OFF **切**	○		○		49
データコード	日付、時刻、**日付&時刻**、カメラデータ			○		51
言語	DEUTSCH(ドイツ語)、ENGLISH(英語)、ESPAÑOL(スペイン語)、FRANÇAIS(フランス語)、ITALIANO(イタリア語)、POLSKI(ポーランド語)、ROMÂNA(ルーマニア語)、TÜRKÇE(トルコ語)、РУССКИЙ(ロシア語)、УКРАЇНСЬКА(ウクライナ語)、العربية(アラビア語)、فارسی(ペルシャ語)、ภาษาไทย(タイ語)、简体中文(簡体中国語)、繁體中文(繁体中国語)、한국어(ハングル)、**日本語**	○	○	○	○	−

* 再生の場合、購入時の設定は「切」です。

液晶明るさ調整　液晶画面の明るさを調整します。

- ジョイスティックを左右に押して調整します。
- テープやカードに記録したり、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。

マーカー　画面に水平線や枠が出ます。被写体が水平／垂直になっているかを確認しながら撮影できます。

- マーカーはテープやカードに記録する画像に影響しません。

撮影アシスト　明るさやピントを調整するときの目安を表示します。

- 「ゼブラ」：画面の明るい部分に縞模様が出ます。「ゼブラ(100%)」は白とびするような明るさのとき、「ゼブラ(70%)」はそれに近い明るさのときに縞模様が出ます。
- 「ピーキング」：ピントが合っているか確認しやすくするために被写体の輪郭を強調します。
- 「ゼブラ」や「ピーキング」はテープやカードに記録する画像には影響しません。

オンスクリーン　画面に出る情報を本機とつないだテレビにも表示します。

- リモコンのオンスクリーンボタンでも操作できます。
- 画面にデータコードが出ているときは、オンスクリーンの設定に関わらず、テレビにも表示されます。データコードの表示を消す場合は、ディスプレイボタンを押して切り換えてください。

日付オート表示　再生を始めたとき、または再生中に日付やエリアが変わったときに約6秒間日付を表示します。

言語　画面に出る言語を変えます。

- 印刷やダイレクト転送などの設定画面で出る SET と FUNC. は、変わりません。

つづく

システム設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		テープ	カード	テープ	カード	
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	○	○	○	○	–
おしらせ音	大、小、OFF 切	○	○	○	○	–
パワーセーブ	ON 入、OFF 切	○	○			–
FIRMWARE	–				○	–

リモコンセンサー　リモコンセンサーを受け付け、本機を操作します。

おしらせ音　電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ　バッテリーを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。電源が切れる約30秒前に、「⚠AUTO POWER OFF」が出ます。

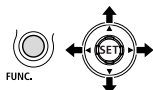
FIRMWARE　ビデオカメラの現在のファームウェアのバージョンを確認できます。通常は灰色で表示されます。

日時設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		テープ	カード	テープ	カード	
エリア/サマータイム	–	○	○	○	○	26
日付/時刻	–	○	○	○	○	26
日時スタイル	**Y.M.D（2008.1.1 AM12:00）**、M.D,Y（JAN. 1, 2008 12:00AM）、D.M.Y（1.JAN.2008 12:00AM）	○	○	○	○	–

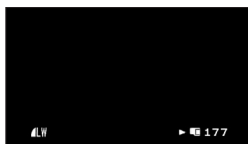
日時スタイル　日時の表示のしかたを変えます（印刷時を含む）。

あとからフォト
テープの映像をカードに記録する

再生中のテープの映像の一場面を静止画として、カードに記録できます。
カードに記録される静止画の画質は選べます。
テレビタイプを16：9にしたときに（📖 77）使用できます。

1 静止画の画質を選ぶ(📖 61)

2 押す

● テープを再生しているときは、再生一時停止にする

3 浅く押し続け、深く押す

● 再生中のテープに記録してある日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。
● 動きの速い映像をカードに記録するときは、ブレた静止画になることがあります。

編集

画像消去

静止画を消す

静止画を1枚消したり、すべての静止画を一度に消したりできます。

一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。

プロテクトしている静止画は消すことができません。

再生中に1枚消す

1　SETを押す

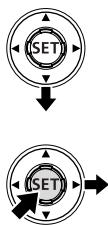
2　下に押して「（画像消去）」のページを選ぶ

3　右に押して「消去」を選び、SETを押す

4　SETを押す

■ 記録直後に1枚消す

電源 カメラ 記録先

メニューで設定した静止画確認時間中に、いま撮った静止画を消すことができます。静止画確認時間を「切」に設定したときは、▶ が表示されている間に消します。単写で記録しているときに操作します。

1 静止画確認時間中にジョイスティックを下に押す

右に押して「消去」を選ぶ→SETを押す

- 静止画確認時間が「切」のとき
  ▶ が表示されている間に、同じ操作をする

編集

つづく

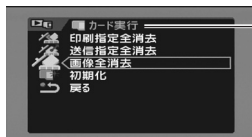
画像消去

静止画を消す

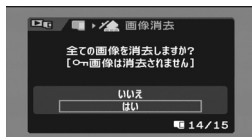
■ 再生中に静止画を全て消す

1 押す

2 上下に押してメニューを選び、**SET**を押す

3 画像全消去を選ぶ

❶ 上下に押して「カード実行」を選ぶ→SETを押す

❷ 上下に押して「画像全消去」を選ぶ→SETを押す

4 上下に押して「はい」を選び**SET**を押す

5 押す

プロテクトされている静止画は、画像全消去をしても消えません。

画像プロテクト

静止画を保護する

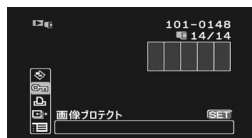
カード内の大切な静止画を誤って消さないように保護します。

画像プロテクト設定をしても、カードを初期化するとすべての静止画は消されます。

■ 再生中に1枚プロテクトする 電源 再生 記録先

1 押す

2 画像プロテクトを選ぶ

● 上下に押して (画像プロテクト)を選ぶ→SETを押す

● SETを押すと (画像プロテクト)がつく

設定を解除する

もう一度押すと が消える。

3 2回押す

編集

カードを初期化する

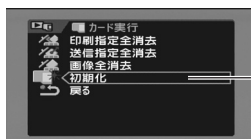
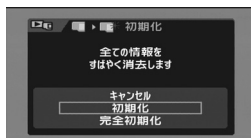
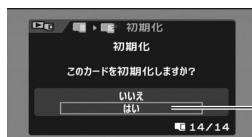
電源	記録先
再生	

初期化は、新しいカードを使うときに行います。また、カードに記録した画像などの情報すべてを消すときにも行います。初期化には「初期化」と「完全初期化」があります。
「初期化」はデータそのものが格納された場所まで初期化しませんので、データを完全に消す必要があるときは「完全初期化」を選択してください。

- 初期化をすると、プロテクト設定した画像まで、すべての情報が消え、元には戻せません。
- カードへの記録/読み出しに時間がかかるようになったと思われるときは、「完全初期化」を選択することをおすすめします。
- 「完全初期化」はカードによっては数分かかることがあります。
- カードを使用するときは、本機で初期化してください。

1 押す

2 上下に押してメニューを選び、**SET**を押す

3 初期化を選ぶ

上下に押して「カード実行」を選び、SETを押す→「初期化」を選び、SETを押す。

上下に押して「初期化」または「完全初期化」を選ぶ→SETを押す

完全初期化を中止するとき

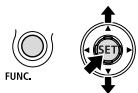
ジョイスティックのSETを押す。

カードはそのまま使えるが、データは全て消える。

4 押す

テレビで見る

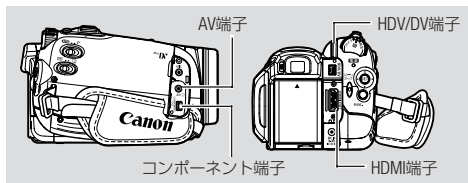
テレビやビデオの電源を切ってから接続します。接続する機器の説明書もご覧ください。接続するテレビの種類や端子によって、再生する画質が異なります。

■ 接続する

1 テレビに合わせて設定する（□ 77）

- テレビに合わせて、メニューで「再生規格」、「テレビタイプ」、「コンポーネント端子」、「DV端子」などを切り換える。

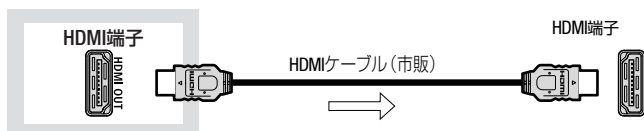
2 本機とテレビをつなぐ

ハイビジョン画質（HD）のテレビにつなぐ

D端子ケーブルでつなぐ場合は、音声を出力するためにステレオビデオケーブルも一緒につないでください。

AV端子
HDV/DV端子
ハイビジョン対応テレビ
コンポーネント端子
HDMI端子

コンポーネント端子
D端子ケーブル
DTC-100/S（付属）
D端子（コンポーネント）

AV端子
ステレオビデオケーブル
STV-250N（付属）
（赤）
（白）
（黄）
R
L
音声

HDV/DV端子
DV（IEEE1394）端子
4ピン
DVケーブル（別売）
6ピン
DVケーブル（別売）

- HDMIケーブルは、HDMIロゴがついているものをお使いください。

標準画質(SD)のテレビにつなぐ

D端子ケーブルでつなぐ場合は、音声を出力するためにステレオビデオケーブルも一緒につないでください。

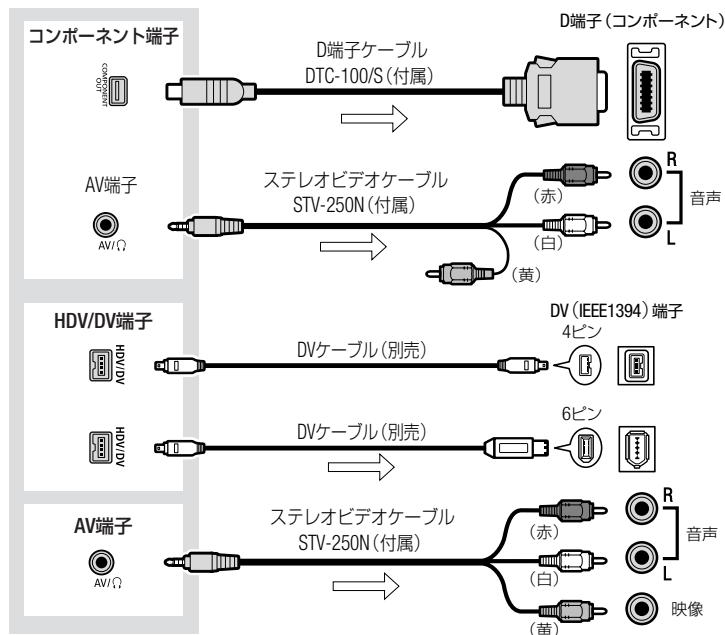
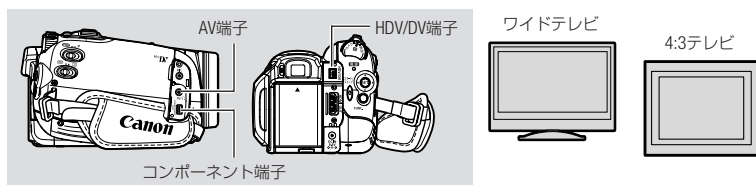
AV端子
HDV/DV端子
コンポーネント端子
ワイドテレビ
4:3テレビ

コンポーネント端子
D端子ケーブル
DTC-100/S(付属)
D端子(コンポーネント)

AV端子
ステレオビデオケーブル
STV-250N(付属)
(赤)
(白)
(黄)
R
L
音声

HDV/DV端子
DV(IEEE1394)端子
4ピン
DVケーブル(別売)
6ピン
DVケーブル(別売)

AV端子
ステレオビデオケーブル
STV-250N(付属)
(赤)
(白)
(黄)
R
L
音声
映像

テレビで見る

画像を再生する

1　テレビ/ビデオ機器の電源を入れる

- テレビ：テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。
- ビデオ機器：入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。

2　テープを再生する（□ 31）
カードを再生する（□ 37）

- 本機にステレオビデオケーブルをつないでいるときは、スピーカーから音声は出ません。
- コンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
- D5端子付きまたはHDMI端子付きのテレビに接続してご覧になると、HDV方式の持つ高画質を十分にお楽しみいただけます。

HDMIについて

- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とは、映像と音声をデジタルのまま一本のケーブルで他の機器へ送ることができる規格です。HDMI端子付きのテレビに接続してご覧になると、HDV方式の持つ高画質を十分にお楽しみいただけます。
- 本機のHDMI端子は出力専用です。
- 出力端子同士の接続はしないでください。故障の原因となります。
- HDMIは、接続するテレビの解像度を自動的に確認して、最適な出力形式を選んで出力します。現在の出力状態は、メニューの「再生/出力設定2」（□ 77）でご覧いただけます。
- DVIモニターとの接続は保証していません。
- 一部のテレビなどでは、個人的に撮影した映像（パーソナルコンテンツ）を表示しない仕様となっています。本機で撮影した映像がテレビ画面に映らない場合には、付属のD端子ケーブルとステレオケーブルで接続してください。
- HDV/DV端子から本機に入力された映像/音声は出力できません。
- HDMIケーブルで他の機器と接続しているとき、AV/ヘッドホン端子、または、コンポーネント端子からは、映像は出力されません。AV/ヘッドホン端子からは、音声のみ出力されます。また、本機のHDV/DV端子、または、AV端子に入力がある場合は、HDMI端子から映像/音声は出力されません。
- テープに他機で追加した音声（アフレコ）をHDMIで出力する場合は、メニューの「音声出力」、「ミックスバランス」（□ 77）で設定されているとおりに出力されます。
- HDMIで出力するときの音声は、バイリンガルの設定をしても、メイン＋サブで出力されます。

他のビデオ機器へ録画する

本機で再生する映像をビデオ機器にダビングできます。また録画側のビデオ機器がDV端子付きのデジタルビデオ機器やDVDレコーダーの場合は、デジタル信号のまま、画質、音質をほとんど劣化させずに録画できます。

DV端子付きビデオ機器／DVDレコーダーへ録画する

■ 設定する

録画される映像の規格は、録画側のビデオ機器によって異なります。

1 録画する映像に合わせて設定する

● メニューで「再生規格」、「DV端子」などを切り換える。

録画したい信号	テープに撮影した映像の規格	録画側機器の対応規格	メニューの「DV端子」	メニューの「再生規格」
ハイビジョン画質(HD)	HDV	HDV	「HDV/DV」	「オート」/「HDV」
標準画質(SD)	HDV	DV	「DV固定」	「オート」/「HDV」
	DV	DV	「HDV/DV」/「DV固定」	「オート」/「DV」

■ 接続する

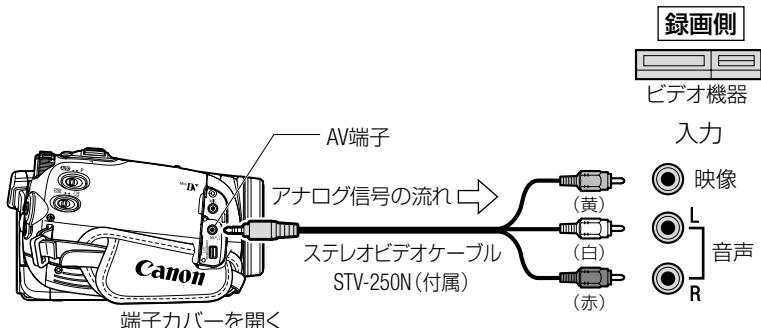
DVケーブルは、端子の形状を確認して、正しい向きで接続してください。接続するほかの映像機器のDV端子が、MPEG2-TS（HDV出力時）またはDV（DV出力時）に対応しているかもご確認ください。

他のビデオ機器へ録画する

映像/音声端子付きビデオ機器へ録画する

再生側（本機）

■ 設定する

メニューの「再生／出力設定2」で「AV/ヘッドホン」を「AV」に設定する。

- コンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
- ステレオビデオケーブルでダビングした映像は、多少画質が劣化します。
- DV端子付きビデオ機器やDVDレコーダーへ録画する場合はDVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。
- DV（IEEE1394）端子を持つすべての製品との接続を保証するものではありません。正しく動作しない場合は、映像／音声端子を使用してください。
- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。

■ 操作する

1 本機 再生するカセットを入れる

2 録画機 録画用カセット／DVDを入れ、録画一時停止状態にする

◀◀ W　▶▶ T

3 本機 再生を始める位置に合わせる

- 正しく接続されていると「HDV/DV」が画面に出る。

▶/II
スタート/ストップ

4 本機 押す

● 再生が始まる。
再生が始まると、「HDV出力」または「DV出力」が出る。

● 映像/音声端子を使用すると、本機に出る日時やカメラデータを入れて録画できる。ディスプレイボタンを押すたびに、表示が切り換わる(📖 51)。

5 録画機 録画を開始する場面で、録画を始める

6 録画機 録画を終える

7 本機 押す

● 再生が終わる。

アナログ入力

本機へ録画する

電源 再生　記録先

ほかのビデオ機器の映像やテレビ番組を本機へ録画できます。本機のAV端子にほかのビデオ機器をつないで映像を入力することを、アナログ入力といいます。アナログ信号の映像をデジタル信号(DV規格)に変換して、本機へ録画します。HDV規格では録画できません。

■ 接続する

映像/音声端子付きビデオ機器から録画する

接続するほかの映像機器の説明書もあわせてご覧ください。

■ 操作する

1 本機 録画用カセットを入れる

2 再生機 再生するカセットやDVDディスクなどを入れる

3 本機 録画一時停止にする

❶上下に押して「●II（録画一時停止）」を選ぶ→SETを押す

❷右に押して「実行」を選ぶ→SETを押す

4 再生機 再生を始める

5 本機 押す

● 録画が始まる。

6 本機 押す

● 録画が終わる。

一時停止するとき

▶/❚❚(再生／一時停止)ボタンを押す。
録画を再開するときは、もう一度押す。

7 再生機 再生を終える

- 接続した機器からのアナログ信号によっては、入力した映像が出なかったり、乱れることがあります(例：ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等)。
- コピー不可の著作権保護信号入りのアナログ信号は、録画できません。

コンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。

HDV/DV入力

本機へ録画する

電源 再生 記録先

DV端子を持つほかのビデオ機器と別売のDVケーブルで接続し、本機へ録画できます。本機のHDV/DV端子にほかの映像機器を接続して映像を入力することを、HDV/DV入力といいます。HDV規格の映像は本機へHDV規格で録画され、DV規格の映像は本機へDV規格で録画されます。

■ 設定する

1 録画する映像に合わせて設定する

- メニューで「再生規格」を「オート」にする。

■ 接続する

DVケーブルは、端子の形状を確認して、正しい向きで接続してください。
まちがった向きに接続すると、本機が壊れるおそれがあります。
接続するほかの映像機器の説明書もあわせてご覧ください。

再生側

録画側（本機）

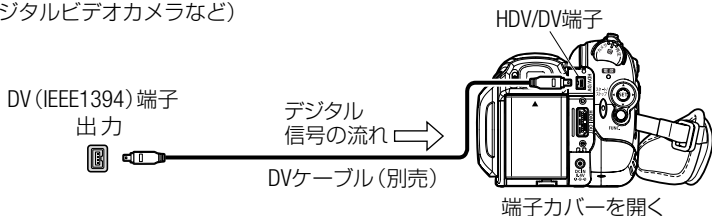
デジタルビデオ機器
（デジタルビデオカメラなど）

DV（IEEE1394）端子
出力

デジタル
信号の流れ

DVケーブル（別売）

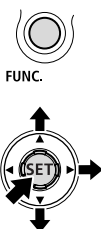
HDV/DV端子

端子カバーを開く

■ 操作する

1 本機 録画用カセットを入れる

- 「AV→DV」が出ている時は、メニューで「AV→DV」の設定を「切」にする（📖 75）。

2 再生機 再生するカセットを入れる

- 正しく接続されていると「HDV/DV」が画面に出る。

3 本機 録画一時停止にする

❶上下に押して「●II（録画一時停止）」を選ぶ→SETを押す

❷右に押して「実行」を選ぶ→SETを押す

4 再生機 再生を始める

再生が始まると「HDV入力」または「DV入力」が出る。

►/II
スタート/ストップ

5 本機 押す

● 録画が始まる。

■
フォーカスアシスト

6 本機 押す

● 録画が終わる。

一時停止するとき

►/II（再生／一時停止）ボタンを押す。
録画を再開するときは、もう一度押す。

7 再生機 再生を終える

- 再生機がテープの無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
- DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないときは、DVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。
- 本機のUSB端子には何も接続しないでください。
- 同じ端子（IEEE1394）でも、信号の方式が異なる場合があります（□122）。HDV/DV入力して本機で記録できる信号は、HDV規格（1080i）、またはDV規格で記録された場合です。

コンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。

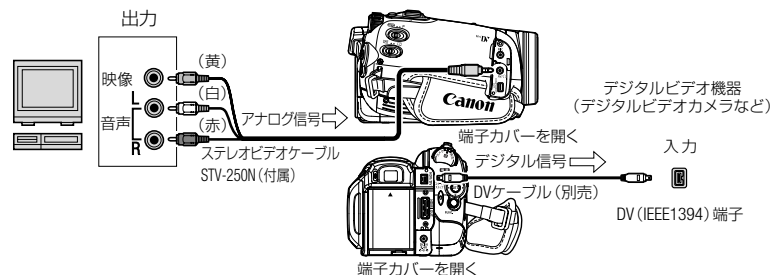
アナログ−デジタル変換

アナログ信号をデジタル信号に変える

電源 再生　記録先

本機にビデオデッキなどを接続すると、アナログ信号の映像と音声をデジタル信号（DV規格）に変換して、HDV/DV端子から出力できます。

■ 接続する

映像/音声端子付きビデオ機器から入力します。接続は、各機器の電源を切って行います。カセットは、本機から取り出しておきます。DVケーブルは、端子の形状を確認して、正しい向きで接続してください。まちがった向きで接続すると、本機が壊れるおそれがあります。接続するほかの映像機器のDV端子がDVに対応しているかもご確認ください。

1 「AV→DV」の設定を「入」にする（📖 75）

- 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります（例：コピー不可の著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等）。
- 通常は「AV→DV」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のHDV/DV端子からデジタル信号を入力できません。

- コンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
- 本機をパソコンに接続するとき
  - アナログ-デジタル変換機能を使うと、映像/音声信号をデジタル信号でパソコンに取り込めます。
  - 操作するために必要なものや接続のしかたは、「パソコンに映像を取り込む」（📖 101）と同じです。ただし、（📖 101）操作3では「AV→DV」を「入」にしてください。パソコンに接続する前に、ご確認ください。
  - 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。

パソコンに映像を取り込む

テープの映像をパソコンに取り込むときは、IEEE1394接続で行います。
テープの映像をパソコンに取り込む前に、次のものがそろっていることをご確認ください。パソコンの説明書もご覧ください。

□IEEE1394端子を標準で搭載しているパソコン、またはIEEE1394端子付きキャプチャーボードを搭載したパソコン
□別売のDVケーブル
□IEEE1394接続に対応した編集ソフトウェア
　取り込んだ映像を編集する場合は、HDV規格またはDV規格に対応した編集ソフトウェアが必要です。

テープに撮影した規格	メニューのDV端子	メニューの再生規格	出力される信号規格	必要な編集ソフト
HDV	HDV/DV	オート/HDV	HDV	HDV規格対応
	DV固定	オート/HDV	DV	DV規格対応
DV	HDV/DV	オート/DV	DV	DV規格対応
	DV固定			

■ 操作する

1 パソコンを起動する

2 本機 再生にする

3 本機 メニューの設定を変える

● パソコンに取り込む規格に合わせて、「再生規格」、「DV端子」を切り換える。
●「AV→DV」が「切」になっていることを確認する。

4 DVケーブルで、本機とパソコンを接続する

（□ 102）

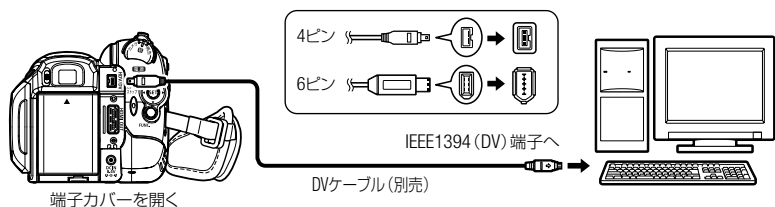
● 正しく接続されていると「HDV/DV」が本機の画面に出る。

5 ソフトウェアを起動する

● ソフトウェアの説明書をご覧ください。

パソコンに映像を取り込む

■ 接続する

ケーブルは、端子の形状を確認して、正しい向きで接続してください。まちがった向きで接続すると、本機が壊れるおそれがあります。

- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 本機とパソコンをDVケーブルでつないでいるときにパソコンで操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
  ① 本機とパソコンからDVケーブルを抜いてから、本機とパソコンの電源を切る。
  ② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。
- USB端子にはなにも接続しないでください。また、パソコンに他のIEEE1394機器を接続しないでください。正しく動作しないことがあります。
- ソフトウェアによっては、本機の電源スイッチを「再生」以外にして操作することがあります。ソフトウェアの説明書をあわせてご覧ください。

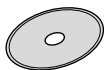
- コンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- 付属のCD-ROMに入っているソフトウェアでは、テープの映像は取り込めません。

ダイレクト転送

パソコンに静止画を取り込む

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うと、（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、簡単に静止画をパソコンに転送できます。

■ 準備する

初めてビデオカメラをパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

1 パソコンにDigital Video Softwareをインストールする

- 詳しくは、付属のCDの中の使用説明書の「Digital Video Softwareをインストールする」をご覧ください。

付属のUSBケーブル

2 本機とパソコンをつなぐ

- 詳しくは、付属のCDの中の使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」をご覧ください。

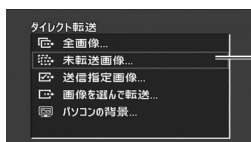
3 自動起動を設定する

- 詳しくは、付属のCDの中の使用説明書の「ビデオカメラとパソコンを接続する場合」（Windows）、「自動で取り込む」（Macintosh）をご覧ください。
- ビデオカメラの画面にダイレクト転送メニューが出て、ボタンが点灯。

- ビデオカメラのカード動作ランプが点滅しているときは、データを破壊することがありますので、次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
  - USBケーブルを絶対に抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
  - 電源スイッチやテープ／カード切り換えスイッチを切り換えない。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。

パソコンに静止画を取り込む

- 本機をコンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- Windows XP/Windows VistaとMac OS Xをお使いの場合
  ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで、付属のDigital Video Softwareをインストールしなくても、静止画をパソコンに取り込めます。

■ 画像を転送する

1 転送方法を選ぶ

全画像…	カードに記録したすべての画像。
未転送画像…	まだ転送していない画像。
送信指定画像…	送信指定したカードの画像（📖 106）。
画像を選んで転送…	画像を選んで転送。
パソコンの背景…	パソコンのデスクトップの背景にする画像。

「画像を選んで転送」「パソコンの背景」を選んだときは次の操作をする

1 **SET**を押す

2 静止画を選ぶ

3 **SET**を押す

2 押す

- 全画像、未転送画像、送信指定画像：転送された画像がパソコンの画面に出る。転送を中止するときは、SETボタン（キャンセル）を押しこむ。
- 「画像を選んで転送」の場合は転送された画像がパソコンの画面に出る。
- 転送中は ボタンが点滅。
- FUNC.ボタンを押すと、前の画面に戻る。

- 「全画像」「未転送画像」「送信指定画像」を選んでジョイスティックの**SET**を押すと、確認画面が出ます。ジョイスティックで「OK」を選び、**SET**を押します。
- ビデオカメラとパソコンをつないだときに、画像を選ぶ画面が出た場合は、FUNC.ボタンを押してください。ダイレクト転送メニューになります。

送信指定する

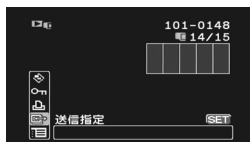
電源	記録先
再生	□

カードからパソコンに転送する静止画を指定できます。998枚までの静止画に送信指定できます。
本機にUSBケーブルをつなぐ前に、操作をしてください。

■ 設定する

1 押す

2 送信指定を選ぶ

- 上下に押して「 (送信指定)」を選ぶ→SETを押す

- SETを押すと✔がつく

設定を解除する

もう一度SETを押すと✔が消える。

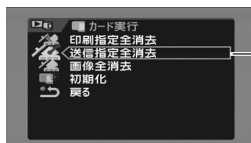
3 押す

■ すべての送信指定を消す

1枚の静止画を再生している時に操作します。

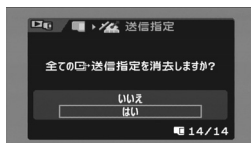
1 押す

2 上下に押してメニューを選び、**SET**を押す

3 送信指定全消去を選ぶ

❶上下に押して「カード実行」を選ぶ→SETを押す

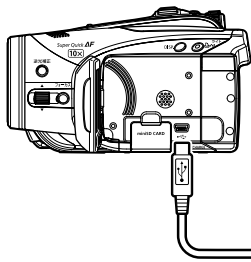
❷上下に押して「送信指定全消去」を選ぶ→SETを押す

4 上下に押して「はい」を選び、**SET**を押す

5 押す

静止画を印刷する

電源 再生 | 記録先

本機に直接、別売のPictBridge対応プリンターを接続できます。パソコンなしで簡単な操作で印刷できます。印刷指定すると連続で印刷できます（115）。
キヤノン製プリンター：PictBridge対応SELPHY CPシリーズ/PIXUSシリーズ/
SELPHY DS/ESシリーズ

■ プリンターとつなぐ PictBridge

USBケーブル IFC-300PCU（付属）

1 本機 カードを入れる

2 本機 再生にする

3 プリンター 電源を入れる

4 本機とプリンターをつなぐ

付属のUSBケーブル

101-0148
14/14
切
入
L判
フォト
フチなし
ボタンで印刷

- 本機の画面に が点滅した後、 が出る。
- （イージーダイレクト）ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に出る。

操作4で [USB] が約1分以上点滅し続ける場合、または [PictBridge] が出ない場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してからつないでください。

- 印刷できない静止画のときは、「[印刷不可]」が出ます。
- 本機をコンパクトパワーアダプターにつないで使うことをおすすめします。
- プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

■ 簡単に1枚印刷する

静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、[プリント/共有] ボタンを押すだけで印刷できます。

1 印刷する静止画を選ぶ

2 押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。
- 印刷中は [プリント/共有] ボタンが点滅し、終了すると点灯。

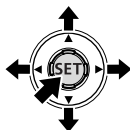
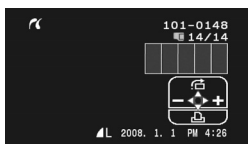
続けてほかの静止画を印刷するとき

ジョイスティックを左右に押し静止画を選ぶ。

つづく

用紙や枚数などを選んで印刷する

1 下に押して「 （印刷）」を選ぶ

- 108ページの操作4の後押す。

2 上下左右に押して設定する項目を選び、SETを押す

用紙設定	用紙サイズ	プリンターによって異なります。
	用紙タイプ	フォト、高級フォト、標準設定、普通紙
	レイアウト	フチなし、フチあり、2／4／8／9／16面配置、標準設定
（日付印刷）		入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）		入、切、VIVID、NR、VIVID+NR、標準設定
（印刷枚数）		1～99枚

3 上下に押して設定内容を選び、SETを押す

4 上下に押して「印刷」を選び、SETを押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。

続けてほかの静止画を印刷するとき

ジョイスティックを左右に押し静止画を選ぶ。

印刷を中止するとき

印刷中にジョイスティックのSETを押す。確認画面が出たら、ジョイスティックを左右に押し「OK」を選び、SETを押す。
キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合は、印刷が中断され印刷中の用紙が排紙される。

印刷中に異常が発生したとき

「用紙がありません」、「用紙が詰まりました」、「インクがありません」などのお知らせ表示（📖 126）が本機の画面に出る。

- キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合：お知らせ表示の内容を解決する。印刷が自動で再開されないときは、ジョイスティックで［続行］を選んでSETを押す。［続行］を選択できないときは、［中止］を選んでSETを押し、印刷し直す。プリンターの説明書もあわせて確認する。
- 以上の操作でも印刷が再開しないときは、次の操作をする。
  ① 接続ケーブルを抜く
  ② 本機の電源スイッチを一度「切」にしてから、再び「再生」にする
  ③ 接続ケーブルをつなぐ

印刷が終了したら

① 接続ケーブルを本機とプリンターから抜く
② 本機の電源を切る

つづく ▶

静止画を印刷する

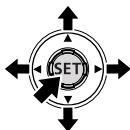
- 次のような場合、静止画がPictBridge対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
  - パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだとき
  - 本機で記録した静止画をパソコンで直接加工したとき
  - 静止画のファイル名を変更したとき
  - 本機以外の製品で記録したカードを本機に入れたとき
- 印刷中に、次の操作はしないでください。
  - テープ／カード切り換えスイッチを切り換える
  - 本機、プリンターの電源を切る
  - 本機とプリンターから接続ケーブルを抜く
  - カードカバーを開けたり、カードを本機から取り出す
- 本機とプリンターをつないでいるときに、「処理中…」が長時間出る場合、接続ケーブルを一度抜き、つなぎ直してください。

- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。
- 「フチあり」：撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷。
  「フチなし」：撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右をカットして印刷されることがある。
- VIVID、NR、VIVID＋NRは、キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズをお使いの場合に設定できます。
- 画像補正は、画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターを使うときに設定できます。
- 「用紙設定」の「レイアウト」で設定できる配置のしかた（キヤノン製プリンター）

	カード	L判	はがき	A4
PIXUS/SELPHY DSシリーズ	–	–	2/4/9/16面配置（専用のシール紙にも印刷可能）	4面配置
SELPHY ES/CPシリーズ	2/4/9/16面配置（8面配置で専用のシール紙にも印刷可能）	2/4面配置	2/4面配置	–

*SELPHY CPシリーズの場合は、ワイド用紙を使用して「標準設定」を選ぶと、2/4面配置ができます。

トリミング
印刷する範囲を選ぶ

用紙設定などの印刷設定（□ 110）を行った後に、トリミングを設定します。

1 トリミングを選ぶ

上下左右に押して「トリミング」を選ぶ→SETを押す。

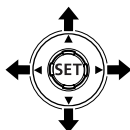
2 W/T側に押す

- 印刷される枠の大きさが変わる。
- ジョイスティックのSETを押すと、枠の縦・横が切り換わる。

トリミングを解除する

枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に押す。
FUNC.ボタンを押すと、印刷設定画面に戻る。

印刷

印刷する範囲を選ぶ

3 上下左右に押す

- 枠が移動する。
- FUNC.ボタンを押すと、印刷設定画面に戻る。

- 枠の色について
  枠は、2色あります。トリミングするときの目安にしてください。
  白：トリミングの設定が行われていません(お買い上げ時の設定)。
  緑：推奨する印刷領域です。画像サイズや用紙サイズ、フチの設定によっては枠の大きさが変わることがあります。
- トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。
- トリミングの設定は、次の操作をすると解除されることがあります。
  ・本機の電源を切る
  ・接続ケーブルを抜く
  ・トリミングの枠を、最大より大きくする
  ・用紙設定を変える
- 他機から取り込んだ静止画はトリミングできないことがあります。

印刷指定して印刷する

電源 再生 記録先

カードの中から、印刷したい静止画と枚数を指定できます。998枚までの静止画に印刷指定できます。
PictBridge対応のプリンターで自動印刷できます。本機にUSBケーブルをつなぐ前に、操作をしてください。

■ 設定する

1 押す

2 印刷指定を選ぶ

上下に押して（印刷指定）を選ぶ→SETを押す。

3 SETを押すと、枚数指定の数字がオレンジに変わる

❶上下に押して枚数を選ぶ→SETを押す

は、合計の印刷枚数を表しています。

印刷指定を解除する

枚数を「0」にする。

4 押す

印刷

つづく

印刷指定して実行する

印刷する

付属のUSBケーブル

1 **本機とプリンターをつなぐ**（□ 108）

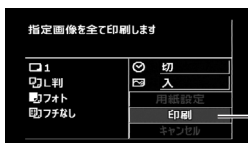
2 **押す**

3 **上下に押してメニューを選び、SETを押す**

4 **印刷を選ぶ**

上下させて「➡ 印刷」を選ぶ→SETを押す。

- 印刷設定画面が出る。
- 印刷指定をしていないときは、「印刷指定が必要です」が出る。
- 印刷指定による全印刷枚数が出る。

5 **印刷する**

SETを押す

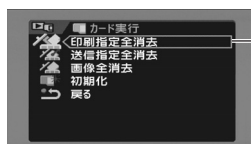
- 印刷が始まり、終了すると再生画面に戻る。

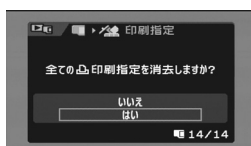
■ すべての 🖶 印刷指定を消す

1枚の静止画を再生している時に操作します。

1 押す

2 上下に押してメニューを選び、**SET**を押す

3 印刷指定全消去を選ぶ

❶上下に押して「カード実行」を選ぶ→**SET**を押す
❷上下に押して「印刷指定全消去」を選ぶ→**SET**を押す

4 上下に押して「はい」を選び、**SET**を押す

- すべての 🖶 （印刷指定）が消える。

- 接続するプリンターによっては、P.116「印刷する」の操作5の前に、用紙設定などの印刷設定ができます（📖 110）。
- **印刷を中止するとき／印刷中に異常が発生したとき**（📖 111）
- **印刷を再開するとき**
  - FUNC.ボタンを押し、ジョイスティックでメニューを選んで「➡ 🖶 印刷」を選びます。印刷設定画面から「再開」を選び、ジョイスティックの**SET**を押すと、残りの静止画が印刷できます。
  - 印刷を再開する前に印刷指定を変更したり、印刷指定をした静止画を消した場合は再開されません。

故障かな？

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。特にほかの機器につないでいるときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、キヤノンサービスセンターまたは購入販売店にご相談ください。

	こんなときは	どうするの？	📖
電源	電源が入らない 途中で電源が切れる カセット入れが開かない 画面がついたり消えたりを繰り返す	• バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 • バッテリーを正しく装着し直す。	19
電源	充電ランプが早い連続した点滅になる（0.5秒に1回の点滅）	コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止する。	—
電源	バッテリーが充電できない 充電ランプがゆっくりとした点滅になる（2秒に1回の点滅）	• 0℃～40℃の温度で充電する。 • バッテリーを使用直後、バッテリーの温度が高くなり、充電温度範囲外になっている。バッテリーをしばらく放置して、温度が40℃以下になってから充電を開始する。 • バッテリーが故障している。別のバッテリーを使う。	19
撮影・再生	操作ボタンを押しても動かない	• 電源を入れる。 • カセットを入れる。	22
撮影・再生	画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない	電源を取りはずし、しばらくしてから取り付けて操作する。または電源を取りはずし、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押すと、すべての設定が解除される。	15
撮影・再生	画面で「」が点滅する	カセットを入れる。	22
撮影・再生	画面で「」が点滅する	十分に充電したバッテリーと交換する。	19
撮影・再生	画面で「」が点滅する	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。「結露について」をご覧ください。	132

	こんなときは		どうするの？	📖
撮影・再生	レンズカバーが完全に開かない	➡	電源を入れ直す。	–
	「⚡」が赤く点滅する	➡	本機が故障している。 サービスセンターに相談する。	–
	画面で「カセットを取り出してください」が点滅する。	➡	カセットを取り出して、入れ直す。	22
	リモコンが動作しない	➡	• メニューで「リモコンセンサー」を「入」にする。 • リモコンの電池を交換する。	82 24
	画面にノイズが出る	➡	プラズマテレビの近くで本機を使っているときは、テレビから離す。	–
	テレビの放送画面にノイズが出る	➡	テレビの近くで使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	–
	一時停止している途中で、テープが停止する	➡	一時停止の状態が約4分30秒続くと、テープとヘッドの保護のために、停止する。操作を始めるときはスタート/ストップボタン、または▶/❚❚（再生/一時停止）ボタンを押す。	–
	画面に横帯が見える	➡	本機は撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、原理上、蛍光灯・水銀灯・ナトリウム灯などの照明下で横帯が見えることがある。この場合は、モードスイッチをAUTOにすると症状が軽減される。	–
	被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える	➡	本機は撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、原理上、本機の前を被写体が素早く横切るような映像を撮影した場合、被写体が少しゆがんで見えることがある。	–
テープ撮影	画面に映像が映らない	➡	電源スイッチを「カメラ」、テープ／カード切り換えスイッチを「📼」にする。	27
	「エリア／日時を設定してください」が出る	➡	• 世界時計のエリアと日時を設定する。 • 内蔵のリチウム電池を充電し、日付／時刻を設定し直す。	26 132

故障かな？

	こんなときは	どうするの？	📖
テープ撮影	スタート/ストップボタンを押しても録画しない	• 電源スイッチを「カメラ」、テープ／カード切り換えスイッチを「📼」にする。 • カセットを入れる。 • テープが終わっている（画面で「📼END」が点灯）。テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れる。 • カセットが録画できない状態になっている（画面で📼が点滅）。カセットの誤消去防止ツマミを確認する。	27 22 31 131
テープ撮影	ピントが合わない	• ピントの自動調整が苦手な被写体です。手動でピントを合わせる。 • ファインダー使用時は、視度調整レバーで、画像がはっきり見えるように調整する。 • レンズが汚れている。最初にブロアでレンズ表面のゴミ、ホコリを拭き除き、レンズを傷つけないように乾いた柔らかい布で軽く拭いて汚れを取り除く。ティッシュペーパーを使わない。 • 別売りのワイドコンバーターやテレコンバーター使用時は、メニューで「AFモード」を「ノーマルAF」に設定する。	47 24 134 74
テープ撮影	音が歪んだり、実際より小さく記録される	• 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがある。 • メニューで「マイクATT」を「入」にするか、録音レベルを手動で調整すると適切に録音できることがある。	– 49 75
テープ撮影	ファインダーの画像がはっきりしない	視度調整レバーで調整する。	24
テープ再生	再生画像にノイズが入る	ビデオヘッドが汚れている。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	134

	こんなときは	どうするの？	📖
テープ再生	**再生ボタンを押しても再生しない**	• カセットを入れる。 • 電源スイッチを「再生」、テープ／カード切り換えスイッチを「」にする。 • テープが終わっている（画面で「END」が点灯）。テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	22 31 31
	映像は出るが、音が出ない	• 液晶画面を開く。 • スピーカーの音量が「切」になっている。ジョイスティックを左右に押して調整する。	35
	HDV再生時に、再生画が瞬間的に止まる	ビデオヘッドが汚れている。市販のヘッドクリーニングカセットでクリーニングする。	134
テレビ接続時	**テレビに映像が出ない**	• メニューで「AV→DV」を「切」にする。 • メニューで「AV/ヘッドホン」を「AV」にする。 • テレビとの接続を確認する。 • D端子ケーブルでテレビにつないでいる場合は、メニューで「コンポーネント端子」をテレビに合わせて切り換える。	75 77 90 79
	テレビで音声が出ない	D端子ケーブルでテレビにつないでいる場合は、音声を出すため、ステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	90
	テレビに文字が表示されない	D端子ケーブルで接続している場合は、メニューの「DV端子」を「HDV/DV」に設定する。	79
	テープは回っているが、テレビに映像が出ない	• テレビのテレビ/ビデオ切り換えスイッチをビデオにする。 • ビデオヘッドが汚れている。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。 • コピー制限されたテープを再生またはダビング録画している場合は操作を中止する。	92 134 –

つづく

故障かな？

	こんなときは	どうするの？	📖
テレビ接続時	HDMIケーブルで接続しているが、テレビに映像や音がでない	• HDV/DV端子から入力した映像は出力できない。 • HDV/DV規格の映像が混在していると起きることがある。HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	–
カード	カードが入らない	カードの向きを確認して、正しい向きでカードを入れる。	23
	カードに記録できない	• カードの容量がいっぱいです。不要な静止画を消す。 • カードが初期化されていない。カードを初期化する。 • 画像番号が最大になっていて、ファイル名が作成できない。メニューで「画像番号」を「オートリセット」にし、新しいカードを入れる。	84 88 75
	カードが再生できない	電源スイッチを「再生」、テープ／カード切り換えスイッチを「 」にする。	37
	静止画を消せない	画像のプロテクト設定を解除する。	87
	「 」が赤く点滅する	カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも点滅が続くときは、カードを初期化する。	88
印刷	本機とプリンターが正しく接続されているのに、プリンターが動作しない	本機の電源スイッチを「再生」、テープ／カード切り換えスイッチを「 」にして、接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直す。	–
編集	DVケーブルで他機をHDV/DV端子に接続しているとき、本機での録画ができない	• メニューで「AV→DV」を「切」にする。 • 信号方式が異なる。アナログ入力では録画できる場合があるため、接続した機器の説明書を確認する。	75 –
その他	本機からカタカタ音がする	内部のレンズが電源を切ると動く音。 故障ではない。	–

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。
メッセージによっては、約4秒後に消えるものもあります。

	メッセージ	どんな意味？/どうするの？	📖
お知らせ表示	エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していない。世界時計のエリアと日時を設定する。	26
	バッテリーパックを取り替えてください	十分に充電されたバッテリーと交換する。	19
	カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっている。別のカセットを入れるか、カセットの誤消去防止ツマミをRECに切り換える。	131
	カセットを取り出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止した。カセットを入れ直す。	22
	HDV/DV入力を確認してください（DVケーブル接続中、表示される）	• DVケーブルがHDV/DV端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れている。ケーブルと端子、電源を確認する。 • テレビ方式の異なる機器を本機にDVケーブルで接続した。	98
	結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついている。	132
	結露しています カセットを取り出してください	ビデオカメラ内部に水滴がついている。カセットを取り出す。	132
	テープ終了です	テープが最後まで巻かれている。カセットを巻戻すか、取り出す。	31
	記録されている規格が異なります 再生できません	テレビ方式の異なる機器、または対応していない機器で記録したテープを再生しようとした。	–
	この入力信号には対応していません	対応していない機器を、DVケーブルで接続した。	–

メッセージが出たら？

お知らせ表示

メッセージ		どんな意味？/どうするの？	📖
再生規格固定中です 入力できません	➡	他機からHDV/DV入力しようとした映像の規格とメニューで設定している規格が異なる。メニューで「再生規格」を入力する映像に合わせる。	77
再生規格固定中です 再生できません	➡	再生している規格とメニューで設定している規格が異なる。メニューで「再生規格」を再生する映像に合わせる。	77
クリーニングカセットを使ってください [ヘッドよごれ]	➡	ビデオヘッドが汚れているためクリーニングをする。	134
カードがありません	➡	カードが本機に入っていない。	23
画像がありません	➡	カードに再生する画像がない。	―
カードエラーです	➡	カードにエラーがあり、記録、再生できない。一時的にカードエラーが起きる場合がある。「カードエラーです」が4秒後に消えて が赤色で点滅するときは、電源を切り、カードを出し入れする。 が緑色または黄色に点灯すれば、そのまま記録、再生できる。	―
カードがいっぱいです	➡	カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、画像を消す。	23 84
カードモードです	➡	カード記録時にスタート/ストップボタンを押した。	―
ファイル名が作成できません	➡	フォルダー番号や画像番号が最大になった。「オートリセット」して、カードの初期化や画像を全て消してください。	75 86
再生できない画像です	➡	再生できない画像タイプ、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生した。	―
送信指定エラー	➡	送信指定の設定可能な画像の枚数（998枚）を超えた。	106
印刷指定エラー	➡	印刷指定の設定可能な静止画の枚数（998枚）を超えた。	115

	メッセージ	どんな意味？/どうするの？	📖
お知らせ表示	**転送できません**	本機で再生できない画像を転送しようとした。	—
	静止画像が多すぎます USBケーブルをぬいてください	USBケーブルを抜いて、カードの静止画が1800枚以下になるまでパソコンに画像を移動するか、不要な静止画を消してから、USBケーブルを接続し直す。 パソコンの場合、OSの設定によっては、パソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	84
	コピー制限されています 再生できません	著作権保護信号が記録されているため再生できない。	—
	コピー制限されています 記録できません	• 著作権保護信号が含まれているため記録できない。 • アナログ入力時に、テレビやビデオ機器から出力される信号が乱れている。	—

つづく

メッセージが出たら？

本機をPictBridge対応プリンターにつないだときに出るお知らせ表示の対処方法については、プリンターの説明書をあわせてご覧ください。

キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DS/ESシリーズについて
- 次の場合は、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
  - ・プリンターのエラーランプが点滅しているとき。
  - ・操作パネルや接続したテレビにエラーメッセージが出ているとき。
- 本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーメッセージが出るときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

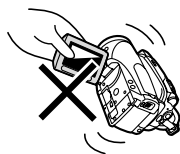
	メッセージ	どんな意味？/どうするの？
プリンター接続時	用紙エラー	用紙に異常がある。 プリンターの用紙が正しく入れられていないか、用紙サイズが間違っている。 また排紙トレイが閉じているときは、開ける。
	用紙がありません	プリンターに用紙が正しく入っていない、または用紙がない。
	用紙が詰まりました	印刷中に用紙が詰まった。 [中止]を選び印刷を中止する。用紙を取り除き、用紙を入れ直してから再度印刷する。
	インクエラー	インクに異常がある。
	インクがありません	インクが正しく入れられていない、またはインクがない。
	インクが残りわずかです	インクの交換時期が近づいている。[続行]を選ぶと、印刷を再開する。
	インク吸収体が満杯です	[続行]を選ぶと印刷を再開するが、お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、インク吸収体の交換を依頼してください。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできません。
	ファイルエラー 印刷できない画像です	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷した。

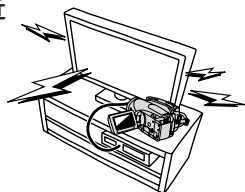
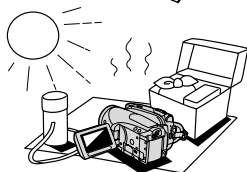
	メッセージ	どんな意味？/どうするの？
プリンター接続時	印刷指定が必要です	カード内に印刷指定をしている静止画がない。
	トリミングの再設定が必要です	トリミングの設定後に「用紙設定」の設定を変更した。
	プリンタートラブル発生	[中止]を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。プリンターの状態を確認する。 それでもエラーメッセージが出るときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
	ハードウェアエラー	[中止]を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 プリンターの状態を確認する。
	通信エラー	通信中にエラーが発生した。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。または、大量の画像が記録されたカードを使って印刷しようとした。画像の枚数を減らす。
	設定を確認してください	ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっている。
	プリンターは使用中です	プリンターが使用中。プリンターの状態を確認する。
	紙間レバー位置が不正です	紙間レバー位置を正しい位置に直す。
	プリンターカバーが開いてます	プリンターのカバーを閉じる。
	プリントヘッド未装着	プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良。

取扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリー、カセットやカードを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

ビデオカメラについて

● **液晶画面をつかんで、本機を持ち上げない**

● **テレビの上、プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所では使わない**

映像や音声が乱れることがあります。

● **太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない**

● **ホコリや砂、水、泥、塩分の多い場所で使用・保管しない**

本機は防水・防塵構造になっていません。ホコリなどが本機の内部に入ると、故障の原因となります。

バッテリーについて

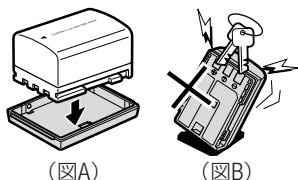
● 端子はいつもきれいにしておく

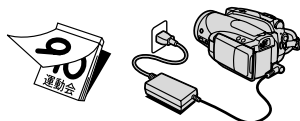
バッテリー、別売の充電器、本機の端子に物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

● 持ち運びや保存の際は、付属のショート防止用端子カバーを取り付ける（図A）

金属で端子をショートさせると（図B）、バッテリーの破損の原因となります。

（図A）

（図B）

● 充電は使用直前にする

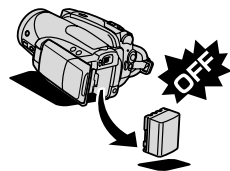
充電しておいたバッテリーも少しずつ放電します。

● 常温での使用時間が極端に短いときは

寿命と考えられます。新しいバッテリーをお求めください。

● 使用時間を長くするコツ

- こまめに電源を切り、10℃〜30℃のところで使用すると、長く使えます。
- スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

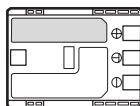
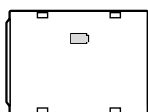
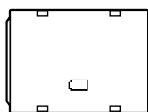
● 長い間保管するとき

- バッテリーが消耗するのを防ぐため、取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に一回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

● 端子カバーの便利な使いかた

端子カバーの「 」の位置を付けかえることで、充電済みバッテリーを区別できます。

バッテリーの裏

端子カバー取り付け後

充電前

充電後

○ この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
○ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
○ 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
○ リサイクルに関するお問い合わせ先

・ 製品、リチウム電池をご購入いただいた販売店
・ 有限責任中間法人　JBRC
　ホームページ　http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
・ キヤノン／キヤノンマーケティングジャパン
　キヤノンサポートページ　canon.jp/support

Li-ion

カセットについて

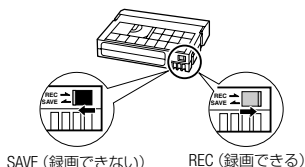
● **保管するときは、必ず巻き戻して、ケースに入れて立てる**
長期間保管するときは、ときどき巻き直してください。

● **過度な衝撃を与えない**
落としたりぶつけたりすると、テープがたるみ、故障の原因となります。

● **傷のついたテープは使用しない**
ヘッド汚れの原因となります。

● **10数回出し入れした金メッキ端子付きのカセットは、綿棒で端子をきれいにする**

● **間違って映像を消さないために**
誤消去防止ツマミをSAVEにしてください。RECに戻せば、再び録画できます。

SAVE（録画できない）　REC（録画できる）

カードについて

● **静止画などのデータは、パソコンでバックアップを取っておく**
カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

● **強い磁気の発生する場所で使わない**
● **高温、多湿の場所に放置しない**
● **分解したり、ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない**
● **端子部分に触れない**
● **他のシールを貼ったりしない**
● **カードを廃棄するとき**
カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

内蔵の充電式リチウム電池について

本機は充電式内蔵リチウム電池によって、日付などの設定を保持します。内蔵リチウム電池は、本機を使っている間充電されるため、3ヶ月くらい使わないと完全に放電します。

充電するとき（所要時間：24時間）

① 本機をコンパクトパワーアダプターにつなぐ

② 電源スイッチを「切」にする

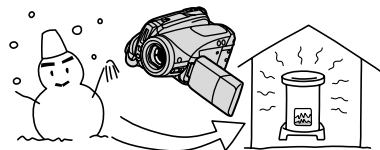
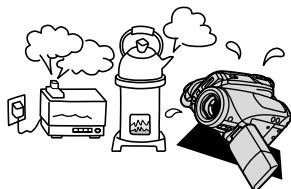
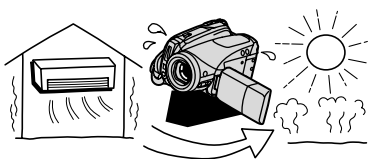
コイン型リチウム電池CR2025

捨てるときは、燃えないゴミとして適宜処理してください（地域によって異なります）

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。結露した状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。次のようなときに結露が発生しやすくなります。

・ 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

・ 寒い部屋を急に暖房したとき

・ 湿度の高い部屋の中

・ 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

どんな表示が出る？

・本機は自動的に停止します。画面に「結露しています」が約4秒間表示され、「💧」が点滅します。
・カセットが入っている場合は、「結露しています」と「カセットを取り出してください」が表示され、「💧」が点滅します。

どんな対処をする？

・テープを傷めないために、カセットはすぐに取り出して、本機のカセット入れを開き、乾燥した場所に約1時間程置いてください。結露したときは、電源スイッチとカセット取り出しスイッチのみ働きます。カセットは本機に入れようとしても入りません。
・電源を入れて、画面の「💧」が点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

結露を防ぐには

・極端な温度差にさらさない。
・温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットやカードを取り出し、本機をビニール袋で密閉します。本機が移動先の温度になじんでから袋から取り出します。

日常のお手入れ

● ビデオヘッドをクリーニングする

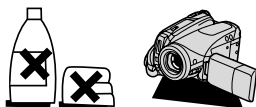
・ HDV 方式で記録した映像を再生中に映像が一瞬停止したり、音声が停止したりする。
・ 画面に「クリーニングカセットを使ってください[ヘッドよごれ]」が出る。
・ 画面全体が青くなったり、ノイズが出たりする。

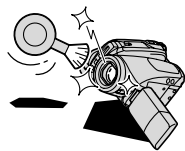
このような現象が出た場合は、以下のことをお試しください。

・ 市販のクリーニングテープを使用してヘッドをきれいにする。
・ HDV 対応テープを使用する（キヤノン Digital Videocassette HDVM-E63PR など）。

湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因となります。また、ヘッドが汚れた状態で録画したテープは、ヘッドクリーニング後にも正常に再生できない場合があります。

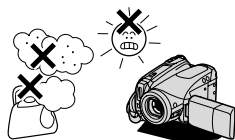
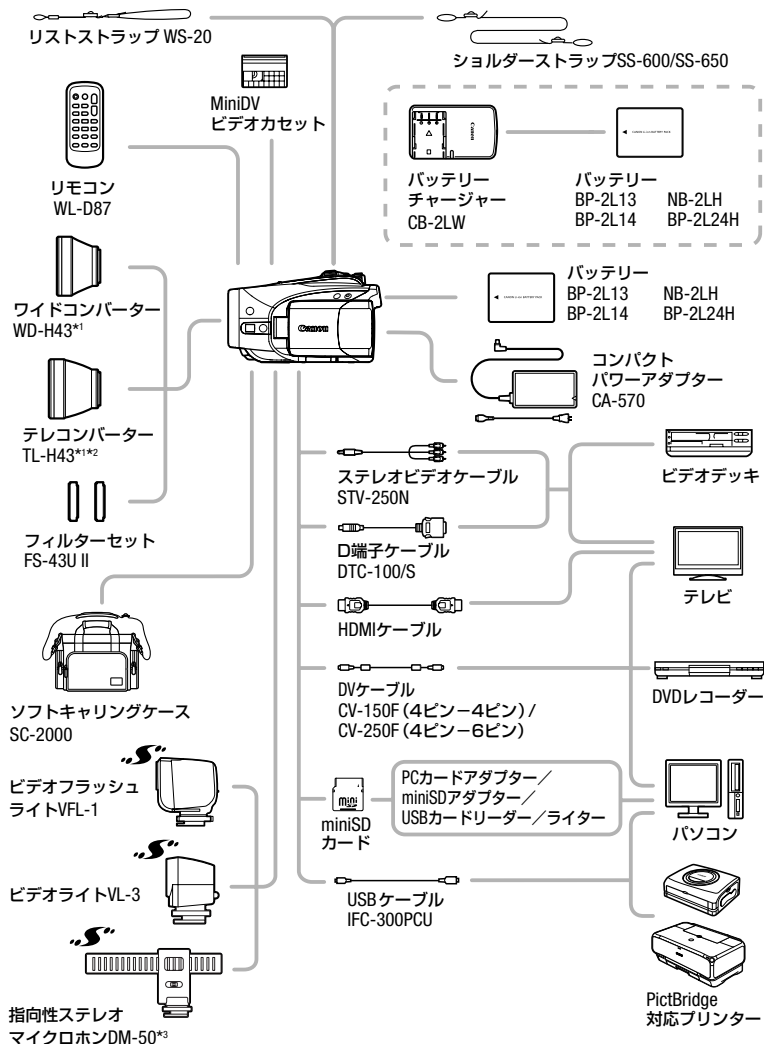
● 本機が汚れたとき

乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどは、製品を傷めることがあるので使わないでください。

● レンズやファインダーが汚れたとき

・ ブロアーでゴミやホコリを取り除き、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで軽く拭いてください。ティッシュペーパーを使わないでください。
・ レンズの表面が汚れていると、自動ピント合わせが動作しないことがあります。

● 液晶画面やS.AFセンサーが汚れたとき

- 市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

● 長期間使わないとき

ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

キヤノンビデオシステム

*1 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたとき、ミニビデオライトやフラッシュを使用時に影が出ることがあります。
*2 テレコンバーターを装着時は、ビデオカメラが被写体に近づける距離が変わります。ズームのW端：約3cm、T端：約3m
*3 指向性ステレオマイクロホンDM-50をビデオカメラに取り付けてファインダーで撮影する場合、マイクに触れて雑音が入るなど、本来の性能が発揮できない場合があります。そのような場合には液晶画面で撮影するなど、マイクから離れて使用してください。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれます。
本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ヶ所の標準時間を表示できます（📖 26）。サマータイムのときは、エリアの右に☀が付くものを選んでください。

■ テレビで再生する

本機で録画したカセットを以下の国や地域などでご覧になる場合、映像/音声入力端子のついた日本で採用しているNTSC方式のテレビで再生できます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 韓国
- ギニアビサウ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK放送文化研究所発行　「世界の放送2005」による）

■ 電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグが必要になります。
コンパクトパワーアダプターを海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換プラグについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

■ 主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米

国名	プラグ
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ

国名	プラグ
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア

国名	プラグ
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア

国名	プラグ
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米

国名	プラグ
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東

国名	プラグ
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ

国名	プラグ
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、キヤノンサービスセンターまたは購入販売店にご相談ください。尚、当社修理サービスご相談窓口、または、お買上げ店にご持参いただく際の諸費用は、お客様にて御負担願います。また、お買い上げ店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、一部御負担いただく場合があります。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるカセット、カードを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはキヤノンサービスセンター、または購入販売店にお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

HV30

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
映像記録方式	HDV： HDV 1080i DV： DV方式（民生用デジタルVCR SD方式）
音声記録方式	HDV： MPEG-1 Audio Layer2　16bit 48kHz 転送レート384kbps（2ch） DV： PCMデジタル記録　16bit（48kHz）/12bit（32kHz）
信号方式	NTSC方式準拠　1080/60i方式
使用可能ビデオカセット	Mini DVのついたミニDVカセット
テープ速度	HDV： 約18.81mm/秒 DV ： 約18.81mm/秒（SPモード時）、約12.56mm/秒（LPモード時）
録画／再生時間	HDV： 60分（60分テープ使用時） DV： 60分（60分テープ使用時/SPモード時） 90分（60分テープ使用時/LPモード時）
早送り／巻戻し時間	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子	1/2.7型CMOS、総画素数296万画素 有効画素： HDV/DV（ワイド）：約207万画素 DV（ノーマル）：約155万画素 カード（LW）：約207万画素 カード（L、M、S）：約276万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約21.1万画素）
ファインダー	0.27型　TFTワイドカラー液晶（約12.3万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=6.1－61mm　F=1.8－3.0（テープ撮影時）電動10倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 HDV/DV（ワイド）：約43.6 - 436 mm DV（ノーマル）：約53.0 - 530 mm カード（LW）：約43.6 - 436 mm カード（L、M、S）：約40.0 - 400 mm
レンズ構成	9群11枚
フィルター径	43mm
焦点調整	自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF選択時）、マニュアル調整可
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H 付）
最低被写体照度	0.2ルクス（SCNの「ナイト」時、シャッタースピード1/2秒時） 3ルクス（オートモード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	光学式
記録カード	miniSDカード*
カード記録サイズ	2048×1536、1920×1080、1440×1080、848×480、640×480
カード記録規格	DCF準拠、Exif 2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法	JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）

主な仕様

＊ 本機では、2GBまでのminiSDカードの動作を確認しています。すべてのカードの動作を保証するものではありません。

・本機の録画規格HDV（PF24/PF30）は、60iでテープに記録します。

・キヤノン製ビデオカメラXL H1、XH G1、XH A1で記録したテープ（24F、30F）も再生できます。

HV30は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
HV30は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像/音声端子（AV端子）	∅3.5 mm 4極ミニジャック、1Vp-p/75Ω 出力時：-10dBv（47kΩ負荷時/3kΩ以下） 入力時：-10dBv／40kΩ以上
USB端子	mini-B
HDV/DV端子	4ピン（IEEE1394準拠）、入出力兼用
コンポーネント出力端子（D端子）	Y：1Vp-p、75Ω PB/PR.CB/CR：±350mVp-p、75Ω D3（1080i）/D1（480i）対応
HDMI端子	タイプA（19ピン）/出力のみ
ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック（AV端子兼用）
外部マイク端子	φ3.5mmステレオミニジャック、 -57dBV（600Ωマイク使用時）/5kΩ

電源その他

電源電圧	DC7.4V（バッテリーパック）、DC8.4V（DC IN）
消費電力	ファインダー使用時：約4.3W、（HDVモード録画中、AF合焦時） 液晶画面使用時：約4.5W、（HDVモード録画中、AF合焦時、明るさ標準）
動作温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約88×82×138mm（グリップベルトを含まず）
撮影時総質量	約615g（バッテリーパックBP-2L13、ビデオカセット30分用、mini SDカード含む）
本体質量	約535g

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力／消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V）～39VA（240V）
使用温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリーパック　BP-2L13

使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃～＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	1200mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約33.3×25.8×45.2mm
質量	約60g

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

■ 修理のお問い合わせは

修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。
受付時間 平日 9:00～18:00
日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

- 故障状態や動作の不具合を確認させていただき、その上で修理方法のご案内をいたします。なお、故障状態のほかに、ご購入年月日と型名「iVIS HV30」であることをお伝えください。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター、QRセンター）をご案内いたします。
- 宅配便による修理品の発送、または、弊社によるお引き取り、お届けについてご案内いたします。

電話番号が050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。このときは、お手数ですがNTTの固定電話からおかけ直しいただくか、**043-211-9394**におかけいただくようお願いいたします。

修理窓口

窓口	郵便番号	所在地
● **札幌サービスセンター**	〒060-0807	北海道札幌市北区北7条西1-1-2 SE山京ビル1F
● **仙台QRセンター**	〒980-0803	宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルヂング1F
● **サービスセンター銀座**	〒104-0061	東京都中央区銀座3-9-7 トレランス銀座ビルディング2F
● **新宿QRセンター**	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F
● **横浜QRセンター**	〒220-0004	神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI 横浜ビル2F
● **名古屋QRセンター**	〒461-0005	愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル1F
● **大阪QRセンター**	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島6-1-21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F
● **サービスセンター梅田**	〒530-0001	大阪府大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビルB1F
● **広島サービスセンター**	〒730-0051	広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビルヂング1F
● **福岡QRセンター**	〒812-0017	福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノンMJ福岡ビル1F
● **東日本修理センター**	〒261-0023	千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンMJ幕張事業所1F

休 業 日：銀座、新宿、梅田（日曜日、祝祭日）／その他（土・日曜日、祝祭日）
営業時間：銀座 10:00～19:00／新宿、梅田 10:00～18:00／その他 9:00～17:30
※ 所在地は変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

製品の使いかたがわからないとき

iVIS HV30 HDビデオカメラ

キヤノンマーケティングジャパン
お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00〜20:00／土日祝日 10:00〜17:00
（1月1日から3日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。不要となった電池はリサイクル協力店の充電式回収BOXに入れてください。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/ivis

キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

DIJ-281

■保証書は製品の箱に添付されています
保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2008年2月現在です
製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

Canon キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
PUB. DIJ-281A